

天の川銀河の12神殿4

天の川銀河の12神殿の目覚め



地球に眠る神殿達の目覚め 目次

- 第1章 アトランティスの神殿の復活
- 第2章 アトランティス・マーメイド達の慟哭
- 第3章 甦るアバロンの記憶
- 第4章 アバロン復活の奇跡
- 第5章 プレアディアスの至高の愛
- 第6章 天の川銀河の12神殿

作者 瀬戸武志&宇宙の光

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 HP <http://s-sun1.com>

アメブロ 光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI hikari@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 アトランティスの神殿の復活

PART1 アトランティスの復興にむけて

私達は、先週バミュダ・トライアングルの浄化とラピスの鳳凰の救出を終えて一安心です。

これで、ようやくアトランティスの神殿の復興と新種族の誕生の仕事に取り掛かれます。

私達が、創造主の神殿に着くと、アディテーイヤもとても喜んで表情で私達を迎えてくれます。

「皆さんのおかげで、地球のバミュダ・トライアングルが浄化され、また偉大なラピスの鳳凰が救出されたことはとてもうれしく思います。

バミュダ・トライアングルは、地球だけでなく、この天の川銀河全体にも深く関わる事だけに、天の川銀河のすべての創造主にとっては、長年の願いがかなえられたことに深く喜びを感じております。

皆さん一人一人が愛に目覚め働いてくださったことに深く感謝の気持ちを伝えたいと思います。」

私達が創造主たちと話をしている時に、もうすでにアトランティス文明の使いであるマーメイドが、にこにこ笑いながら私達を迎えに来ています。

私達は、フェニックス号に乗って、アトランティスの世界へと入っていくことにしました。

私達は、時間をどんどんさかのぼりアトランティスの時代へと戻っていきます。

私達が、マーメイドに案内されてたどり着いた場所は、海の中のドーム状の空間の様な場所です。

ドーム状の空間の入り口から、宇宙船ごと中に入り、アトランティスの神殿へとたどり着くことができました。

アトランティスの神殿では、以前お会いした乙姫様が私達を待っています。

「皆さん、このアトランティスへ来てくださったことを心から歓迎いたします。

私達は、本当に長い間、皆さんを待っていました。

私達は、地球の世界では、滅びることになっていますが、皆さんが時を超えて、アトランティスに来てくださることでお会いすることができました。」

私も乙姫様に挨拶すると共に、まだ海の底にあるアトランティスを見るのは初めてですので、興味深く見えます。

メンバー達も周りをキョロキョロ見渡しているようです。

「TAKESHI さんが、以前、水のドラゴンを助けてくださったたり乙姫族と森羅族の復興をおこなっていただいたおかげで、スピリットの世界では、私達も少しずつ力を取り戻しています。

しかしながら、皆さんが、アトランティスの神殿を皆さんの時代に復興して下さることで、私達は現代によりみがえり、新たな働きをすることができます。

レムリアやムーとの新たな関係もきっと始まることでしょう。

その為にも、どうか皆さんのお力を貸してください。」

乙姫様は、喜びのあまりに少し興奮気味で、美しい顔が少し赤く上気しています。

周りにも乙姫族の方達が、真剣なまなざしで私達を見ています。

「乙姫様、あなたのお申し出は、私もよく理解しております。

その為に、ここに来たのではないですか、ご安心ください。

ところで、アトランティスが最も栄えていた時代はいつごろですか、その時の神殿と神官達を移動させたいと考えているのですが。」

「TAKESHI さん、そうですね、其れはこの時代の少し前の時代になります。」

乙姫様と私達はフェニックス号に乗り込み少し前の時代に行くことにしました。

フェニックス号で時代をさかのぼると中期のアトランティス文明の時代へと入っていきます。

「この時代は、アトランティスが一番栄えていた時代で、アトランティスの叡智も高く、人々はネガティブな感情を持つこともほとんどありませんでした。

しかし、時代が下るにつれて、アトランティスも地球もどんどんネガティブな要素が増えてきてしまいました。私は、もう一度、このような時代に戻りたいと思っているのです。」

「乙姫様、もちろんです。神殿も神殿のエネルギーもそのまま、私達の時代へ運びましょう。

それでは、運びたい神殿や存在を教えてくださいませんか。」

私は、フェニックス号の船長も来てもらいました。

神殿の規模や数によって応援の巨大宇宙船を何隻呼ぶかを決める必要があるからです。

「アトランティスの神殿は重要なものだけでも 12 神殿あります。

愛の神殿、太陽の神殿、月の神殿、水の神殿、風の神殿、大地の神殿、火の神殿などです。」

「それから神官や巫女たちはもちろんですが、ほかに連れていきたい動物や存在達はいますか。」

「そうですね、ここにある神殿を維持している神官と人々、そして動物とフェアリー・・・」

彼女が言いかけると、空中で高い鳴き声がしました。

私達が空を見上げると、巨大な 4 体のドラゴンが空を舞っています。

乙姫様は、空を見上げてうれしそうに微笑んでいます。

「TAKESHI さん、大変でしょうが、あの子たちもよろしくお願いします。

アトランティスの神殿を統治する 4 体のドラゴン達です。

黄金のドラゴンは叡智、シルバーは愛、赤は浄化、青は平和のエネルギーを象徴しています。」

アトランティスの種族は、乙姫族とマーメイドの他にもマーピープルと人間の男性の様な方もいます。

この人は、マーピープルとの間に子供を作ったり神殿の治安を守ることが役目の様です。

やがて、アトランティスが地上に姿を現すときは、この人達が中心となってアトランティスの文明を築くようです。

フェニックス号の船長は、詳しい状況を乙姫様からお聞きして、大型宇宙船を 5 隻ほど、この世界に呼び寄せるようです。

宇宙船がついてから、詳しい打ち合わせが行われるようですから、その間、私達はアトランティスの神殿を探索することにしましょう。

PART2 古代アトランティスの愛の神殿

愛の神殿は、エメラルド色のクリスタルで作られている神殿です。

神殿の窓からは美しい海が見えていて、乙姫族とも最もつながりが深い神殿です。

この神殿には、神聖な愛の泉があり、愛のエネルギーを満たしています。
愛の神殿の巫女が美しい花びらを入れている様子がわかります。
この泉では、私達のスピリットを心から潤し、不要な感情をクリアーにしていきます。
そして愛のエネルギーを高めると共に、魂を美しくしていきます。
私達は、まずこの愛の泉につかり、自分たちのエネルギーをどんどん愛に満たしていきます。

水の神殿は、比較的簡単な作り方をしている神殿で、石を丸く磨いて楕円形の形に積み上げられた素朴な神殿です。

入り口にはクリスタルの噴水が作られ、美しく清らかな水を流し続けています。
この噴水には、いくつものエレメントのエネルギーが満ち溢れて虹の様な光を作っています。
私達は、神殿の中に吸い込まれるようなエネルギーに従って、神殿の中に入ります。
神殿の中は、滝のように水のエネルギーが流れており、神官たちが浄化をおこなうための場所があります。
そこでは、神官が降りそいでくる水のエネルギーによって、自分の身と心を癒しています。
水のエネルギーで浄化をおこない、高次の世界につながるためのトレーニングを行っているようです。
この水の神殿には、もう1か所素晴らしい泉があります。
この泉は、人の健康を維持し、寿命を伸ばしてくれる効果があるとのこと。
神殿の奥で、黄金色の光を反射させながら輝く泉で、鉄分やミネラル分が豊かな泉です。
もちろん、私達もこの泉に入って、自分たちの健康を祈ります。

太陽の神殿は、アトランティス最大の神殿です

まるで古代ギリシアの建物のような神殿で、とても規模が大きく立派な神殿です。
アトランティスの人々は太陽のエネルギーをととても重視していたようです。
アトランティスの人々が健康的に生きるために、彼らのDNAや生命エネルギーは太陽の神殿によって作られる光から出来上がっています。
太陽の神殿は、他の神殿と異なり、男性の神官ばかりが存在しています。
彼らは、清潔を保つために、頭髪をすべて切り落としています。
頭を太陽に似せることで、太陽の光を丸ごと吸収できるようにしているようです。
偉い神官は、第7チャクラのところに古代の太陽のマークが描かれていて少しユーモラスです。

太陽の神殿の奥には、神事を行う場所があり、天井が高く神殿の天井もステンドグラスで輝いています。
太陽の光が虹色に降り注いでいるこの場所で、太陽のエネルギーをしっかりと受け止めています。
部屋の中央に大きな丸石があり、それを囲むように神官が祈りを上げています。
石のとなりに機械があり、この装置を使って太陽のエネルギーを蓄積するシステムの様です。
アトランティス文明では、太陽のエネルギーを使って、様々な建物を作ったりエネルギーを生み出すことをおこなっている事を、神官たちが伝えてくれます。
私達はこの部屋の横にあるサンルームの中に入り、太陽に光を受けながらしばらく瞑想をおこないます。

PART3 アトランティスの新たな世界

フェニックス号から、神殿移動の準備が整ったとの連絡が入りました。
私達が戻ると、フェニックス号を取り囲むように巨大な貨物船の様な宇宙船が待機しています。

そして、宇宙船のお腹から特殊な光線が神殿に向って放たれると、神殿がどんどん縮小されて船に向って吸い寄せられていきます。

小さくなった神殿は、各宇宙船の中に收容され固定されます。

私達は、アトランティスの人達とともにフェニックス号に乗り込みます。

わたしは船長に出発の合図を送るとフェニックス号は、時間を超えて私達の現代へと進んでいきます。

私達が出たところは、美しく輝く大西洋です。

わたしは、乙姫様にアトランティスの神殿を海の中に作るか、空中に作るか尋ねました。

乙姫様は、今回の神殿は、空中の別次元に作りたいそうです。

私は、創造主にお願いして、アトランティスの新たな次元を作ってもらい、そこに神殿を降ろすことに決めました。

キラキラとした海の上に、永遠の創造主が、手から光をだして新しい次元を作ります。

新しいアトランティスが、生まれてきたのです。

新しい次元に、私達の宇宙船が入っていきます。

そこは出来上がったばかりの世界です。

海はひろがっていますが、そこにはまだ生命はありません。

山も平べったい状態で、緑の木々も動物たちもいません、あるがままの原初の状態です。

私達は、この次元に、自然豊かな世界を作るために、自然の女神エオリア、フェアリー達、ゼウス、ポセイドンなどの物理世界の創造主たちを呼びました。

大地には、野原が広がり、美しい花や緑の植物たちも成長していきます。

森も生まれ、木々に隠れるように鳥や動物たちもふえていきます。

美しい空も出来上がり、雲が流れ、虹がかかり、鳥たちも空を舞っています。

愛と調和を満たすため、エメラルド・グリーンの海でマーメイド達が優しい歌声で海を満たしていきます。

全てが生まれ始めている感覚。太陽もキラキラ輝き始めています。

フェニックス号を中心とした宇宙船団がアトランティスを再構築する準備を始めています。

あらたな次元の状況を確認しながら、神殿を一つずつ宇宙船の中から降ろしていっています。

PART 4 アトランティスの復興した神殿

宇宙船から、アトランティスの神殿が降ろされる様子を見ながら、智美さんと亜理紗さんを通じて、乙姫様からアトランティスの神殿の構成について詳しい話を聞くことにしました。

乙姫様の話によると、神殿は全部で12神殿あります。

その中心となるのは、エレメントの神殿と呼ばれている神殿群で下記の5つの神殿から成り立っています。

風の神殿は、情報の伝達やコミュニケーションをおこなう神殿です。

そして風の精霊だけでなく自然界の精霊達とのコミュニケーションを図る働きがあります。

火の神殿は、エネルギーの浄化とエネルギーの再生をおこなう神殿。

土の神殿は、大地のエネルギーと自然環境を育てるためのエネルギーをもたらします。
そして私達をグラウンディングさせ、大地のパワーをもたらします。
水の神殿は、人々の体の各レベルを浄化します。そしてチャクラやマインドの浄化も行います。
太陽と光の神殿は、太陽のエネルギーをアトランティスに降ろす大事な役目を持っています。

そしてエレメントの神殿の他にもいくつもの神殿があります。
まず愛の神殿ですが、こちらは月の神殿の要素もあるようです。
そして、宇宙とアトランティスの叡智と法則を保存する叡智の神殿。
真実の神殿もしくは気高さの神殿と呼ばれる神殿には、宇宙の図書館も併設されているようです。
もちろん、癒しのエネルギーを満たした癒しの神殿もあります。
そして美の神殿、純粹さの神殿、クリスタルの神殿もあるようです。
私達は、乙姫様にお願いして、すべての神殿の様子を見せていただくことにしました。

○新アトランティスの水の神殿

私達は、乙姫様の案内に従って神殿を回ります。
最初はエレメントの神殿の「水の神殿」で私達の体を清めてくださることになりました。
レムリアの水の神殿によく似たつくりの神殿で、壁から水が流れ出しており水のエネルギーを活性化させています。
中央には丸く削られた石があり、噴水の様などころでくるくる回っています。
水の神殿では、人々の体だけでなく、チャクラやマインドの浄化をおこない、水を飲むことでヒーリングパワーを受け止めることができます。

○新アトランティスの風の神殿

風の神殿は、周りに柱が建てられていますが、壁はありません。
風がちゃんと通るようになっていて気持ちが良い神殿です。
神殿の横には庭があり、大きな楕円形の石を祭壇のように使い、風の精霊達に祈りの儀式を行なっています。
この神殿の神官は、まるで風（鳥）のようになって、いろいろな情報を受け取っています。
この神殿の特徴は、コミュニケーションの能力を高めることで、精霊界のエネルギーとつながることができます。
その他にも、喉のチャクラを活性化して、伝えたいことを表現しやすくします。
なる。精霊界とのつながりがある。

○新アトランティスの火の神殿

私達は、次に火の神殿に入ります。
風の神殿の隣にある火の神殿は、とてもダイナミックな作りをしており、柱は重厚で床も大理石のような石を張ってあり、つるつるしています。
中央に祭壇みたいな場所があり、火のシンボルを象徴するクリスタルが置いてあります。

神殿の脇にもお祈りをささげる石がおいてあり、各所に灯籠の様なものにキャンドルがともされているようです。

この神殿では、私達の体やスピリットから不要なエネルギーを浄化していき、エネルギーと体のバランスを整えていきます。

また、火の神殿は、火の力によりスピリットの強化を図ります。

太陽と同じく火はとても重要なために、常に守っている神官がいます。

太陽の光が見えないとき、曇りや、雨のときも、大切に守っています。

私達は、この神殿で祈りを捧げることにより、自分達の意識進化を図ることができます。

○新アトランティスの土の神殿

土の神殿は、大地のエネルギーを、常により良いエネルギーに保つために、人々をグラウディングさせて宇宙と交流させていきます。

土の神殿は、植物の成長や母なる大地への祈りをおこなうために、自然が豊かできれいな花たちもたくさん咲いています。

この神殿は、自然界と深くつながる場所です。

お祈りをするときには、神官達は大地に整列をするような形で座り、マザー・アースとつながるための祈りをおこなっています。

この神殿は、自然界からの恩恵を受ける場所、私達の育成をおこなう場所、母なる地球とつながる場所なのです。

そして、この神殿は、種の保存と繁栄、植物たちを守る働き、自然の恩恵や農作物の豊作に対する感謝の祈りも捧げます。

神官達は、歌を歌って楽しんだり、自分の好きな場所でマザー・アースとつながるって祈っています。

○新アトランティスの太陽（光）の神殿

太陽（光の神殿）の役目は、太陽のエネルギーをアトランティスに降ろすことです。

太陽の神殿で祈りながら、他のエレメントの神殿のエネルギーのバランスを取ります。

その為に、風、火、土、水の神殿の真ん中に位置している場所に、太陽の神殿は立っています。

神殿そのものの作りは、丸い形で作られており、柱も丸い白い大理石の柱です。

入口に2人の神官が門番として立っており、サードアイのところにルビーの石が輝いています。

普段は入れない神殿で、すべての四つのエレメント（土、風、火、水）のエネルギーが備わっていて、すべてのエネルギーを統合した場所となっています。

アトランティスの中心的な神殿として、宇宙や星さまさまざまな次元とつながっているようです。

ここは、人々がさまざまな次元や空間に移動できる場所です。

太陽の神殿は、エネルギーは、太陽のエネルギーを利用して循環させています。

他の神殿やアトランティスの全ての浄化、調整を行い、統括する場所です。

太陽の神殿の中央には、巨大なクリスタルが備えられていますので、私達はそこで祈りをおこなう事にしました。

太陽の神殿に、アトランティスの神殿の重要な神官たちに集ってもらい、次々と創造主のエネルギーを呼び込み、アトランティスの各神殿のエネルギーを高めていきます。

○新アトランティスの愛の神殿

私達は、翌週の星のツアーで、新しく生まれかわったアトランティスの神殿をさらに尋ねることにしました。今回は、今までとスタイルを変えてメンバーの中で希望者を選び、その人を神殿の神官と深くつなぎ合わせることで、各神殿の神官のメッセージを伝えてもらう事としました。

最初に尋ねたのは、愛の神殿です。ここを担当してくれたのは小百合さんです。

愛の神殿は、とても優しい光に満ちています。

とても清らかで美しい神殿です。

○新アトランティスの叡智の神殿

私達は、愛の神殿に引き続き叡智の神殿を訪ねることにしました。

ここは男性のメンバーである政史さんをお願いすることにしました。

この叡智の神殿は、宇宙の真実を伝える図書館の働きもしています。

神官を想像していただいたときも、帽子をきっちりとかぶった堅い感じの神官の姿が現れます。

政史さんが、神官の言葉を伝えてくれました。

「今日はよくいらっしゃいました。

私どもは、皆さんに創造主の叡智を渡すために準備をしておりました。

この叡智の神殿は、地上に生きる皆さんに、宇宙を創造した創造主達の叡智をもたらすための場所です。

私達は、皆さんがこの叡智を生かして行くことを望み支援いたします。」

この叡智の神殿は、高い塔のような感じの神殿です。

年配のひげをたくわえたおじいさんの様な神官達が数名いて、宇宙の高次の存在とエネルギーが繋がっているようです。

この神殿は、宇宙の叡智を学ぶために来ている人達がたくさんいて、人の行き交いが多い神殿です。

この神殿は、アトランティスの神殿の中でも、知的な学者タイプの人達が集まり、宇宙の創造主がもたらすエネルギーについて研究をおこなっている場所でもあります。

私達は、しばらくこの場所にとどまり瞑想をおこなっていきます。

○新アトランティスの真実の神殿

叡智の神殿の横にある神殿は、真実の神殿と呼ばれている神殿で、ここには美由紀さんが足を踏み入れます。

真実とは、自分が信じているものを追い求めていく勇気であり、何事にも挑戦しようとする気持ちの事です。

美由紀さんは、とても荘厳な雰囲気を持つ神殿の中に一歩ずつ踏み込んでいきます。
一歩踏み出すごとに自分の中に真実の光が少しずつ入ってくる。

神殿の廊下の両側には書物が収められている本棚がずらりと並んでいます。
そして所々に自然や宇宙の絵画、地球儀、そして美しい花も飾られている。
まるで伝統的な大学の様な荘厳さに満ちています。

廊下をゆっくり歩くと、突き当りに大きな扉があります。
私達は、この扉の前に立ち、愛のエネルギーと信頼のエネルギーを高めるために、自分の心に向けて愛と信頼の言葉を宣言していきます。
この真実の部屋には、愛と信頼をもってしか入る事はできません。

私達が、部屋の扉を開くと、とても天井が高い六角形のような部屋があります。
部屋の中央には、昔の哲学者のように叡智と気品に満ちている気高いマスターが、私達を待っています。
美由紀さんの口から言葉があふれだします。
「あなたが勇気をもってここまで来たことに感謝しています。
真実の神殿に勇気を持って入ることで、あなたが手にしている恐れは無くなり、あなたが真実と気高さを受け取る事がふさわしい人であると考えてください。
あなた自身が真実、気高さそのものです。」

神官はひざまずくと美由紀さんの額に手を当てて真実と気高さの光を伝えてくれます。
「真実というものは光そのものです。
ただ真実という物は当たった光の角度によって見え方も感じ方も変わります。
何が真実であるかと言われた時、それはあなたの愛から来る物、愛そのものが真実です。
たとえ何が真実であるか迷ったとしてもハートから来る物が真実です。
それぞれに感じることや考えることが違う時もありますが、そこにある物は愛だけなのです」

○新アトランティスの癒しの神殿

癒しの神殿は、まさに癒しの神官の雰囲気を持った亜美さんが担当してくれました。
癒しの神殿は、私達のイメージ通り、柔らかい光に包まれた神殿でやさしい愛に満ちあふれています。
私達は、中央に美しい泉があって、花々が咲き、心地よい香りが漂う神殿をイメージしています。
中央の泉のそばには、優雅で美しい神官が微笑みながら立っています。

神官の一人が、亜美さんの手をとって、神官のハートに亜美さんの手を当てています。
癒しの神殿の神官は、亜美さんの瞳をしばらく見つめうなずくように、亜美さんの勇気と愛をたたえています。
神官の手を通して癒しのエネルギーが亜美さんと私達に流れていきます。
優しい光のエネルギー、愛のエネルギーが、神殿の中にゆっくりと満ちあふれています。
私達は、その優しい波動に癒され、気持ちのよい状態で、亜美さんと神官達を見えています。

普段は、リーディングが苦手な亜美さんの口から、癒しの神官の言葉がこぼれ落ちます。
「みなさん、アトランティスの癒しの神殿へようこそ。」

この泉に入り、皆さんの中に残っている疲れやネガティブな気持ち等を、すべてこの中に流してください。
そして、皆さんが生まれ変わるように、しっかりと癒してください。
皆さんがお疲れになった時は、いつでもこの神殿に戻ってきてください。
私達は、あなた方の浄化を助けたいと思います。」

決して雄弁ではない麻美さんから、言葉にならない神官のエネルギーが優しく広がり、私達はその中に包まれます。

私達は、この癒しの神殿のそれぞれの場所で、心地よい時間を取り、自らをしっかりと癒していきます。

○新アトランティスの美の神殿

美の神殿は、もうすぐ出産を控えた紀子さんです。

私達は、美の神殿に入るために、自らの装いも美しく着飾ります。

美の神殿は、輝くばかりの美しく素晴らしい神殿です。

紀子さんは、彼女によく似合った服やドレスをまとい、自分自身が美の神官となります。

美の神殿に足を踏み入れると、神殿の中まで美しいバラが咲き乱れ、椅子に座った神官達が音楽を奏でています。

その中を進むと美しい祭壇があり、3人の美の女神が紀子さんを待っています。

3人の美の女神は、女性としての美しさ、母としての美しさ、人間としての美しさをそれぞれが象徴しています。

3人の女神は 花で作られた冠を、紀子さんの頭に乗せてくれました。

紀子さんは女神達と手を取り合って意識を1つにすると、彼女のハートの中に愛のエネルギーが流れていきます。

美の神官となった紀子さんが語ります。

「今日は、美の神殿へようこそいらっしゃいました。

美しい物を見ることで、皆さんの心は安らぎ温かくなります。

美しい物を見て、そのエネルギーを感じる事で自分も美しくなり、周りの人達からも、愛と安らぎのエネルギーを感ずる事ができます。」

愛の女神の言葉に、私達は酔いしれそうになります。

みんなで美のエネルギーを分かち合うと、細胞の1つ1つが、美しいエネルギーで満たされ、愛によって彩られていく様子が広がります。

○新アトランティスのクリスタルの神殿

神殿めぐりも、後2つです。

クリスタルの神殿は、奈津子さんが担当します。

私達は、クリスタルの神殿と同調するために、クリスタルを手に持ち、クリスタル・マスターを呼び出します。

クリスタル・マスターは、私達一人一人とクリスタルの意識をつなげ、クリスタルのメッセージやパワーを伝

えてくれる存在です。

奈津子さんも、自分の前にあるクリスタルを通して、クリスタルの神殿の中に入っていきます。クリスタルの神殿はとても透明感があって清らかなエネルギーに満ちている神殿です。私達は、クリスタルの神殿の中にすーっとはっていきます。

奈津子さんのクリスタル・マスターは、女性性を表すローズ・クォーツをもって現れます。クリスタルのエネルギーが、私達のハートの内側に広がっていきます。私達の心の奥深くまでやさしい光と愛のエネルギーが広がっていきます。クリスタル・マスターと意識を1つにすると周りには美しいクリスタルが光り輝き始めます。

奈津子さんが、クリスタルの神殿に入り、神官達の言葉を伝えていきます。

「このまばゆい光を見てください。
ここにあるたくさんのクリスタルは透明な水晶だけではありません。
それぞれのクリスタルが、色とりどりの光や色、形を醸し出しています。
この部屋には、それらのクリスタルによって、ピンク色の光や虹の光、やさしいエネルギーを醸し出しています。どうか、この部屋の雰囲気存分に味わってください。
そして、皆さんの悲しみや苦しみを癒してください。」
部屋中のクリスタルが共鳴して、美しい調和のエネルギーを生み出しています。

クリスタルの神殿の中央には大きなクリスタルが置いてあります。
このクリスタルは、アトランティスの生命の光であり真実の光でもあります。
中央のクリスタルの周りに小さめのクリスタルが並べられています。
クリスタルの周りでは、神官達が歌うように祈りの言葉を唱えています。

奈津子さんが、クリスタルを手にしてその波動を伝えてくれます。

「クリスタルの光の声を聴いてください。
皆さんが、皆さん自身を心から浄化をしたいと望むならば、あなたの叡智や癒し、純粹さをこのクリスタルが、あなたに与えてくれるでしょう。
どうか、おそれずに、どんなに大きなクリスタルであったとしても共鳴してください。
今あなたと1つに繋がっていることが、私達クリスタルにとっても、大切な力になります。
皆さんが、クリスタルとエネルギーを分かち合うという事はとても素晴らしい事です。
この感覚を忘れないで、もっと遊び心を持ちってください。
そして癒される事をおそれず、これから行く道を進んでください。
これがあなたに伝えるメッセージです。」

○新アトランティスの純粹さの神殿

最後に残されたのは、純粹さの神殿です。
この神殿は、亜理紗さんが担当します。

私は、亜理紗さんを神殿の中ではなく、建物がない美しい野原へと導きます。

風が柔らかくそよぎ、花のささやきを感じれるような野原です。
野原に1本の道があり、フェアリー達が待っています。
小径に入るとフェアリー達が手をつなぎ、森の中へと導いていきます。

森の中を進んでいくと、次第にペガサスやユニコーンの姿も見えてきます。
森の中央の近くに進むと、様々な姿の精霊達の姿も見えてきました。
木・土・火・水・風の精霊たちが、それぞれの姿を現しています。
私達は、精霊と共に森の広場へと進むと、そこに待っていてくれたのは、精霊の女神です。

亜理紗さんが広場の中央に進むと、5人の精霊達は、手にしたワンドで光の柱を作ります。
亜理紗さんが、光で包まれると、彼女自身が光の精霊へと姿を変えていきます。
そして彼女が光の精霊と変わった事を祝福するように、純粋さの神官達も現れてきます。

亜理紗さんが語り始めました。
「みなさん、ようこそお越しくださいました。
純粋さの光は、あなた方の中にくったくの無い笑顔で笑うことや3歳児のように毎日を楽しんで過ごすことを、思い出させてくれます。
野原を裸足で駆けめぐったり、水遊びをしたり、太陽の光をおもいっきりあびることもよいでしょう。
雨が降っていても外を駆けめぐった記憶や無邪気に過ごしていた記憶、それが純粋さそのものです。
皆さんは、成長すると共に人間関係にとまどい苦しみ、つらい経験をしてきました。
それは成長する過程で重要な事なのですが、本来魂は純粋であり汚れのないものなのです。
その純粋な魂に戻ることで、皆さんの本来の姿がよみがえってきます。

純粋さの神殿は、皆さんが童心に戻り、素晴らしい愛の存在として生まれ変わるための神殿です。
ここは、たくさんの精霊・妖精と繋がり、あなた自身が光の精霊となるための場所です。
皆さんが、たくさんの光をたずさえ、さらに純粋な汚れのない姿に戻ること。
これこそが真実の愛へとつながる1歩なのです。

皆さんは、この地球に新しい学びを得るために生まれてきました。
あなた達人間は、何度も人生を繰り返しながら成長していく存在です。
皆さんが成長していくことで、皆さんのスピリットもきたえられて行きます。
その成長こそが、高次の世界に繋がる大切な一歩となるのです。
皆さんが、本来の役割に目覚める時が来ました。
皆さんが、その役割を素直な気持ちで受け止めるために、純粋さは必要なのです。
様々な経験を通して蓄積されたネガティブな感情は、皆さんの人生にとってもう不要なものとなりました。
あなた本来の純粋さを取り戻し、光の存在へと大きく成長して行ってください。」

○アトランティスの新たな種族

私達は、神殿めぐりを終えた後、乙姫様と話をし、新たなアトランティスの種族を生み出すことにしました。
アトランティスの原初の種族である乙姫族、そして宇宙の12神殿を統括するトパーズの鳳凰、鳳凰族の守護

をする黄金の騎士団、フェアリーの女神などの力を借りてアトランティスの種族を生み出します。
トパーズの鳳凰が中心となり光をつなぐと、黄金色の光がドーム状に広がっていきます。
そして、そのドームの中から新たな種族が生まれてきます。

これからのアトランティスを担っていく種族と女性と男性のパートナーが現れてきます。
やはりアトランティスですね、同じ形の種族ではなく、様々な形の種族ができてきます。
人型の種族はもちろん妖精のような愛らしい存在は緑色の羽をはばたかせるようにして生まれてきます。
そしてマーメイドや羽を持っているケンタウルスも生まれてきました。
とても賑やかな光景に、アトランティスの神官達も大喜びです。

第2章 アトランティス・マーメイド達の慟哭

PART1 アトランティスの過去の記憶の解放

私達が、過去に戻り、アトランティスの神殿と叡智を現代に移し替えた後、ライトボディ・ヒーリングを受け人達のなかから、アトランティスの過去の記憶がどんどん解き放たれていきました。

私達は、数名の人達の過去の記憶から、アトランティス文明に起こったこと、そして多くの女性（マーメイド）たちが、その歴史の中で傷つけられた過去を解放していく必要があることを知らされました。

其れは、数名の女性たちにたまたま起こったことではなく、地球の歴史の中で封印された大きな愛と叡智の光を解放し、この時代に目覚めさせるために必要な「アトランティスの愛の解放」が、今まさに起こってきたのです。

アトランティスの初期の時代に、海の中で優雅に暮らしていたマーメイド達に、突如大きな異変が現れました。その当時、海の中にあったアトランティスを支えていたのは、私達が乙姫族と呼ぶ種族とマーメイド&マーピープルでした。

乙姫族と言うのは、日本でも有名な「浦島太郎」の説話の元となった種族の事です。

そして、彼女たちを守護していたのは、現在ポセイドンと呼ばれる創造主の一人でした。

ポセイドンは、当初アトランティスをのどかで平和な海の楽園として作り上げてきましたが、ある時、アトランティスをもっと発展させるために、自分のスピリットを2つに分けて活躍させるために、分身を作りました。私達は、その分身を「荒ぶる海の神」と呼んでいます。その存在は、穏やかなポセイドンとは異なり、とてもパワフルで創造性に満ちあふれていました。

荒ぶる海の神は、アトランティスを成長させ発展させるために、アトランティスのマーメイドやマーピープル達に自我の意識を植え付けました。

そして、アトランティスの勢力を拡大するために、強力なドラゴン達をたくさん生み出しました。

そのことによって穏やかで美しかったアトランティスの様相は一変しました。

マーメイドやマーピープルの一部は、荒ぶる神の部下として、とても支配的になり、乙姫族や他のマーメイド達を支配して傷つけようとしていました。

支配的となったマーメイド達が、最初に行ったことは、マーメイドや乙姫族の種族を保持するために必要だった男性のエネルギーを持つマーピープルの独占でした。

アトランティスの乙姫族やマーメイド達の種族のほとんどは女性でした。

彼女たちは、自分たちの種族を保持するために、数少ない男性系のマーピープルのエネルギーを、多くの女性たちで分かち合っていました。

つまり、一人の男性系のマーピープルに対して数10名の女性の乙姫族やマーメイド達が愛を分かち合い、その子供を作っていたのです。

しかしながら、乙姫族もマーメイド達も潜在意識で深くつながっていたために、そのことに対して嫉妬心や不快な印象を持つことをしませんでした。

むしろプレアディス星の愛と同じように、皆で愛を分かち合っていました。

マーピープルが自分以外のマーメイドと愛し合っているにもかかわらず、それを嫉むことなく、自分の事のように喜んでいました。

そして生まれてくる子供達も、種族の子供として、皆で協力して育てていたのです。

ところが、荒ぶる海の神によって、自意識を受け付けられたマーメイド達は、自分達を特殊な存在として位置づけ、マーピープルを独占することで、子供を作ることができるのは、荒ぶる神の支配下にあるマーメイド達に限定してしまったのです。

そのことによって、マーメイド達から生まれてくる子供たちがどんどん少なくなりました。

また嫉妬心や独占欲を持ったマーメイド達によって、マーメイド特有の「神聖なる愛」のエネルギーも失われていきました。

アトランティスのマーメイド種族は、急速に弱体化すると共に、より支配的なマーメイド達とマーピープルたちが暴力的な統治を行うことによって、アトランティスに階級社会が生まれてきました。

これが、平和な楽園から支配階級が生まれてしまったアトランティスの第2期の始まりでした。

PART2 傷つけられるマーメイド達の慟哭

アトランティスを、発展させようと試みたポセイドン神の試みは、荒ぶる海の神と自意識を持ったマーメイド達によって、さらに暴走していくことになりました。

荒ぶる海の神は、ポセイドンに対抗して、アトランティスや海の世界を支配しようと思いはじめたのです。

荒ぶる海の神は、パワフルで破壊的な水のドラゴンを生み出し、自分の命令を聞かないマーメイドやアトランティス以外の種族を、自分に従わせるために攻撃を始めました。

海は、破壊的な水のドラゴン達によって荒れ狂い、穏やかさを失いました。

平和を愛していたマーメイド達は、激しい勢いで動き回るドラゴン達のエネルギーに巻き込まれ傷つけられました。

多くのマーメイド達は、水のドラゴン達を恐れて、海のなかを逃げ回り、自分たちの住処を失っていきました。

その中で、一部のマーメイド達は、海の中にあったアトランティスを捨てて陸に上がろうとしましたが、そこはもうすでに、荒ぶる海の神とマーピープルたちによって陸地の支配がはじまった後でした。

陸に上がろうとしたマーメイド達は、次々に荒ぶる海の神の部下であるマーメイドとマーピープル捕えられてしまいました。

捕えられたマーメイド達は、まるで奴隷のように扱われ、その尊厳を奪われていきました。

あるマーメイド達は、船を引っ張ったり荷物を運ぶために使われましたし、小さなプールの中で、エネルギーを発電するために利用されました。

また他のマーメイド達は、遺伝子研究の実験材料にされたり、マーメイドが持つエキスも特別な目的のために奪われ利用されてしまいました。

そして多くのマーメイド達が、食べる物も休養も十分に与えられず、疲労と絶望感の中で、マーピープルや人間達から乱暴を受け続け生死の境目をさまよい続けたのです。

しかしマーメイド達の命の灯も、やがて吹き荒れる嵐の前に、次々と消えていきました。
なかには、仲間のマーメイド達を守るために、自分が犠牲になって、仲間達を逃がそうとした勇敢なマーメイドもいましたし、マーメイドの窮地を救ってもらうために、アトランティスの守護神であるポセイドンに直訴したマーメイド達もいました。

しかしポセイドンは、マーメイド達を救い出すことはできませんでした。
その当時、すでにポセイドンから分かれた荒ぶる海の神は、凶暴な海のドラゴン達の力を借りてポセイドンよりもさらに巨大な力を持つようになっていたのです。

この時代は、アトランティスを生み出した乙姫族とマーメイド達にとっては煉獄に繋がれたような辛い時代になってしまいました。

アトランティスの時代は、これ以降、海から地上に上がったマーピープルと彼らから進化した人類によって統治される文明となってしまったのです。

PART3 アトランティスの封印を解く

私達は、ライトボディ・ヒーリングでこのアトランティスのマーメイド達の過去を持つ人達に出会うと、アトランティスの平和な時代へと時間をさかのぼって戻ります。

そして、その本人のスピリットでもある神聖な光を持つマーメイドとその人を統合させることにしています。
そして、アトランティスのマーメイド達が本来持っている「自由」「愛」「調和」「セクシーさ」を、その人のもとに取り戻していきます。

しかし、この時の過去の苦しみは、とても大きなものでした。

多くのマーメイドとしての過去を持つ女性達が、この過去世の影響で、現世においても夫から乱暴をされ続けたり精神的に傷つけられ絶望感と共に生きてきた人達もいました。

また若い時から、何度も男性から監禁や屈辱を受けた女性もいました。

其れは、アトランティスが、皆さんの心とスピリットの中に残した爪痕とでも呼ぶべきことです。

もしくはアトランティスによって行われたスピリットへの封印とでも呼んだらよいのでしょうか。

宇宙の光のメンバー達によって、先日アトランティスを破滅に導いた「荒ぶる海の神」は、その身につけられていたネガティブ・コードをはずされ、正当な意識に戻されました。

荒ぶる海の神も、本来はこのような破壊的な存在ではなかったのですが、ある理由により、その精神を操られ、多くの種族を巻き込みながら、アトランティスの崩壊を引き起こしていったのです。

私達は、「荒ぶる海の神」の意識が戻ると共に、その本体であるポセイドン神との再統合をおこなう事にしました。

これにより、ポセイドン神は優雅であると共にパワフルな存在となり、創造性と安定性を共に持ちあわせた素晴らしい創造主として生まれ変わりました。

またアトランティスの古代文明も、ポセイドンと荒ぶる海の神が分離される前の時代に作られた「アトランティスの神殿群」を宇宙の光のメンバー達によって、現代に移し替えられて復興しています。

またアトランティスのネガティブなエネルギーを閉じ込めていたバミューダ諸島のエネルギーも解放され、アトランティスの呪いと呼んでいるエネルギー達も澄み渡ってきました。

これによって、アトランティスによって支配されたり破壊されたりしてきた文明たちの封印も解き放たれ、その犠牲になってしまった人達のスピリットがよみがえることが可能となってきました。

私達は、これから地球の各文明の神殿を現代に復興して、地球と宇宙をつなぐ光のシステムを作り上げていくのです。

第3章 甦るアバロンの記憶

PART1 甦るアバロンの記憶

この1週間ほど大変なことが起こっています。

アトランティス文明を復興する前後あたりから、アバロン文明の崩壊の時の記憶を持った人達が、多数現れてきました。

ライトボディ・ヒーリングで、皆さんの過去生の記憶を解放するために、皆さんの過去世の記憶を調べていると、同じアバロンの記憶でも異なる役割を持っている方たちが、多数存在しているのです。

その記憶をつなげていくと、アバロントアトランティスの最後の戦いの様子が手に取るようにわかってきます。

おそらく、レムリアやアトランティスは、スピリットは繋がっていても、肉体は今の人類と確実にきり離されています。

しかしアバロンの人々は、その一部が生き残りケルト文明を作り、その流れは今も秘かに続いているようです。そのために人間としての資質は、レムリアやアトランティス以上につながっているのではないかと思います。そして、アバロンの文明の復興を前に、復興をおこなうのに必要な人々の記憶が目覚めさせられ復興が行われるのだと思います。

その時代、アバロンを守護していたのは魔法使いマーリンでしたが、アバロンは平和な文明だったので、さほど強力な部隊を持たずに過ごしていたのです。

しかしある時予言を担当する神官が、間もなくアトランティスの部隊が攻めてくることを伝えたことから、このアバロン、「最後の戦いの」ドラマは始まりました。

皆さんの記憶の中から、神官、精霊、そしてマーリンが育てた10人の女性騎士の記憶からアバロンの最後の戦いを再現してみましょう。

○アバロンの予言の神官 涼子さん

涼子さんの記憶のなかから出てきた過去は、アバロンの予言をおこなう女性神官の記憶でした。

彼女は、水浴びをしている時に、とても危険なビジョンを見ました。

其れは、アトランティス文明の兵士たちが、アバロンに攻め込んでくるビジョンでした。

彼女は、そのビジョンをレムリアの神官に伝えようとアバロンの神官達が集まる塔に急いで戻ってきました。

予言を行う神官は、神官の長に自分が見たビジョンを伝えました。

神官達は、アトランティスが攻めてくるまでは、もう少し時間がありましたので、どのようにアバロンを守ったらよいか話し合いをおこないました。

この時、現在の兵力だけでは足りないので、魔法が使える10人の女性騎士を作ることが決まったのです。

神官の長老は叡智の神殿で瞑想し、たくさんの女性神官尾中から、10人の神官が選ばれました。

そして、魔法使いマーリンによる魔法の教育や戦いの教育などが約6か月にわたって行われたのです。

マーリンは地殻の森で、アトランティス軍に知られることがないように秘密の訓練を続け、各神官に特有の能

力を目覚めさせ、10人の女性騎士として成長させ、アトランティスとの戦いに備えました。

やがて、自分が予言した日が近づいてきました。

彼女は、予言が当たらないように祈り続けたのですが、やはり予言は当たってしまいました。

アバロンの戦況が不利になると、マーリンの力によって、彼女は神官の塔から瞬間動をおこない命は助けられたのですが、それ以来占い師などをして隠れながら生活をしてきましたが、自分がにげだしてきたことに対して大きな罪悪感を覚えることとなってしまいました。

しかし、彼女は、遠い未来にアバロンが再び復活するときに、自分自身がそのために再び生まれることを予言して亡くなりました。

マーリンもその時出てきて涼子さんに言います。

「すべては予言通りになります。

あなたのスピリットが健やかにすごしていないとアバロンの記憶があやふやになってしまいます。

アバロンの記憶が薄れてしまうと、アバロンの神官や精霊たちは復活することができないのです。」

マーリンは、彼女のスピリットに癒しの光を送ります。

○騎士団をエンパァメントする神官 亜理紗さん

亜理紗さんの記憶の中から浮かび上がってきたのは、アバロンの騎士団をエンパァメントする女性神官の姿でした。

アバロンの神聖な泉で体を清めている女性神官の姿が浮かび上がります。

とても体格ががっちりしていて男性と見間違うばかりです。

彼女は、力の神官と呼ばれ、力の神殿で、これから騎士になる人や戦いに出かける騎士たちに力を授けたり守護のための祈りをおこないます。

その時は、アトランティスとの戦いに出向く10人の女性騎士団のために、特別な儀式が行われています。

6人の力の神官達が、騎士になる人にパワーを与え生命力を強化するために、六芒星を作り、騎士の人の頭に剣をあて、呪文を与えて騎士に祝福を与えています。

この儀式によって、騎士の能力を高め、パワーを増強させプロテクトをおこなうのです。

やがてアトランティスとの戦いが始まりました。

彼女たちがエンパァメントした騎士たちは勇敢にたたかいましたが、アトランティスの魔法使い達によって、その能力を封印され次々と倒されていきました。

力の神官達は、騎士団たちが倒された後、その大きな体とパワーで、騎士団の代わりに戦いに出ましたが、騎士としての訓練をほとんど受けていなかったため、アトランティスの魔法使いに魔法をかけられた後に、アトランティスの兵士に取り囲まれて倒されてしまいました。

私達は、彼女が倒される前に、丸太を彼女の身代わりにして彼女を助け出します。

○アバロンのマザーと呼ばれた神官 和美さん

アバロンにアトランティス軍が近づいてきたとき、真っ先に動いたのは、アバロンを守護する神官達でした。

アバロンに邪悪なエネルギーが入り込まないように、神官達は自分たちのもてる限りの力を使って、アバロンの神聖なエネルギーを守ろうとします。

中でも、若き神官の教育係を務めていた女性神官のリーダー的存在であるKさんは、アバロンを守るための強力なクリスタルを手を持って、守りのエネルギーをアバロン中に張り巡らしていました。

彼女の守護の力、結界を張る力は神官たちに中でもとびぬけており、神官達から「アバロンのマザー」と呼ばれて慕われていました。

しかし、彼女の自らの生命力をかけた結界もアトランティス軍の複数の魔法使いによって破られてしまいました。

アバロンに、アトランティスの邪悪な力がなだれ込んできました。

しかしマザーはそれでもアトランティスの力を弱めるために、吐血しながらも、自らの生命力のすべてをクリスタルのこめ、アバロンを守りつづけました。

しかしアトランティスの力が強まるにつれ、次第に力を失い、彼女の生命の灯はきえていき、クリスタルも粉々に砕けてしまいました。

私達はこの時に戻り、マザーの心とスピリットを癒していきます。

そして、今の時代に生きている和美さんに、この守護の力が再び目覚めるようにマーリンによって癒しの魔法が行われます。

○アバロンを守護する神官の長老と孫娘たち 祥子さん

アバロンのマザーと呼ばれる神官とともに、アバロンの神聖な光を守るために大きな守護の魔法を使っていたのが、アバロンの神官の塔を治める神官の長老とその孫娘の神官でした。

神官の長老としてこのアバロンを守護してきた彼にとっても、このアトランティスとの戦いは最大の危機でもありました。

しかし年老いて力が弱ってきた神官は、自分だけの力では、このアバロンを守りきれないことを確信し、その当時まだ若かった孫娘たちを神官の塔に呼び寄せ、共に祈ることにしました。

祥子さんのスピリットは、孫娘の一人でした。

彼女は尊敬する長老とそしてもう一人の姉妹の3人で、大きなクリスタルを囲み、そのクリスタルにエネルギーをこめて祈り始めました。

アバロンを守護するための光がクリスタルからあふれ出し、アバロン中に広がっていきました。

まるで、アバロンを半透明のシールドで覆い尽くすかのようでした。

しかし、彼女たちのエネルギーもアトランティスの魔法使いたちによって次々と打ち破られていきました。

神聖なアバロンに魔物の様な存在がなだれ込み、アバロンの精霊によって守られていた自然が踏みにじられていきました。

その封印が破られるごとに、アバロンの長老の生命の火が風にゆらされ、弱っていきます。

アバロンの騎士団が、アトランティスの兵士によって打ち破られたことを知ると、魔法使いマーリンは、若い神官たちにアバロンの叡智を託し、いくつかの場所へと瞬間移動して、その命を守りました。

この祥子さんもアバロンの神官の塔から、安全な場所へと移されましたが、家族もなく、アバロンの神官であったことを隠しながら、ひっそりと生きていくこととなりました。

私達は、彼女が抱えてきた苦しみや、悲しみを解き放っていきます。

○アバロンの大地の精霊 幸子さん 光の精霊 奈美さん 風の精霊 紀美子さん

アバロンは、地球の中でも、もっともミスティックな力が最後まで残っていた場所です。アバロンはとても自然豊かな場所で自然の精霊やフェアリー達が、人間と共に豊かに生きていました。特に神官たちと自然の精霊たちは仲が良く、作物の豊作や人々の健康、出産などを常に精霊達に祈ってきたのです。

しかしアトランティスがアバロンに攻めてきたことに対しては、精霊たちも大変な危機感をもっていました。特に、アトランティスには、とても強力な魔法を使う魔法使い達が何人もいて、騎士たちに魔法を使って攻撃してきました。

そして彼らの魔法は、アバロンの調和に満ちたエネルギーに対しても、破壊的な影響を及ぼすものでした。精霊たちも自分たちが持っている力を、失ってしまう事を危惧し、アバロンの魔法使いや兵士たちに対抗することになりましたが、本来戦いが好きでない平和な存在である精霊達にとっては、それはあまりにも悲しい結末を迎えました。

大地の精霊は、いつもは大地の植物を育てたり大地そのものを守ったりする存在です。戦いのときは、大地のエネルギーを使用して植物や樹木をつかって、アトランティスの兵士から大地を守ろうとしましたが、魔法使いによって、邪悪な存在に変えられてしまいました。

光の精霊は、アバロンを守護する精霊でした。敵が攻めてくるまでは、平和な生活をしていましたが、敵が攻めてきたために、アバロンの騎士と共に戦いに加わり、魔法使いに力を封じ込められ遠くに飛ばされ記憶を失ってしまいました。マーリンの魔法によって、精霊の心を癒していくと、精霊がもとの姿に戻って行きます。その姿から癒しのエネルギーがあふれ、耳はエルフ、目はダイヤモンドのように輝いている精霊に戻っていきます。光の精霊が、移動するたびに光の粉が舞い上がるように輝いていきます。

アバロンの美しい風の精霊もアトランティスの魔法で、暴れる火をふくドラゴンに変えられてしまいました。彼は、風の力でアバロンを守護するための防御壁を作りアトランティスからの攻撃を防いでいましたが、アトランティスの魔法使い達から、精霊の封印の魔法をかけられ、丸い球の様なものに閉じ込められてしまいました。風の精霊は、小鳥を彼の身代わりにすることで、魔法使いから封印されることを防ぎ、助け出しました。風の精霊は、透き通った肌色で金髪の髪を持ち、緑色の服を着ています。マーリンがこの時の傷ついた記憶を消していきます。

○アバロンの守護騎士 真理子さん 癒しの騎士 亜由美さん

アバロンとアトランティスの本格的な戦いが始まりました。

アトランティス軍は海を渡り、アバロンへと入ってきました。

ミノタウルの様な、巨大な怪物を先頭に、多くの兵士たちがなだれ込んできました。

そして、その後ろでは魔法使いたちのグループが、アバロンの兵士たちに魔法をかけ、その動きを止めたり、体にダメージを与えてしまいます。

アバロンの多くの兵士たちが傷付き倒れていく中、マーリンによって育てられた 10 人の女性騎士も戦いに挑みます。

まずアバロンの女性騎士団は、守護騎士がシールドを使用した守護の魔法をかけ、女性騎士団にむけられた攻撃や魔法を跳ね返しながらか進みます。

真理子さんは、太陽の光の様な髪の色をして、透き通るような白い肌です。

彼女は、守護の魔法と共に、癒しのエネルギーをアバロンの兵士たちに送り、兵士の体と心を癒していきます。

其れによって、パニックになった兵隊を落ち着かせていきます。

しかしながら、彼女の存在を疎ましく思ったアトランティス軍は、彼女の後ろから近づき、彼女の不意を衝いて彼女の動きを止めてしまいました。

そして兵士たちが、彼女を囲んで槍で刺し殺してしまいました。

私達は、私達の騎士団を派遣して彼女を好きだと共に、彼女の魔法の封印を解いていきます。

彼女のスピリットは、宇宙レベルでも守護力の強い天使の一員で、現在でも宇宙の光を守護する働きをしています。

癒しの騎士だった亜由美さんは、アバロンの騎士たちの傷を癒し体力を回復させる回復魔法を専門とする騎士でした。

少し離れたところから、傷ついた仲間達を癒したり、アトランティスの兵士たちの荒ぶる気持ちを癒して戦闘意識を失わせることをおこなっていました。

しかし彼女も、魔法使い達から魔法をかけられて、殺されてしまいました。

私達は、彼女を助け出し、マーリンの魔法で彼女の封印を解いていきます。

○アバロンの竜騎士 紗理奈さん 焔の騎士 恵菜さん 弓騎士 真美さん

アバロンの騎士の多くは、自分たちの特殊能力や魔法を使って戦いました。

相手も、普通の兵士だけでなく、この戦いのために遺伝子操作された牛の魔物や相手の攻撃や能力を封じるための魔法使い達も加わった部隊でしたので、通常の兵士たちはたちどころに蹴散らされていきました。

その中でも、10 人の女性騎士は、彼らの攻撃を跳ね返しながらか進んでいきましたが、圧倒的な人数を誇るアトランティス軍の前に、次々と倒されていったのです。

アバロンの竜騎士は、10 人の女性騎士団の中でも団長に続くパワーと攻撃力を持つ騎士です。

剣に龍の力をこめて戦うだけでなく、様々なドラゴンを操り、ドラゴンの力で相手を攻撃しました。

ミノタウルの様な姿をした魔物に対抗できるのは、この竜騎士を置いてほかにはありませんでした。

しかし彼女も、兵士と魔法使いたちによって取り囲まれ、魔法使いの封印の魔法によってその力を失い大地に倒れてしまいました。

また焔の騎士は、自分の剣に焔の力を宿し、その焔の力を使って攻撃しましたし、弓騎士も遠くからたくさん

の兵士を射抜きましたが、圧倒的な数を誇るアトランティスの兵士に取り押さえられてしまいました。しかし彼らも、私達の手によって救い出されました。

○女性騎士団の団長 アバロンの光の騎士 由梨絵さん

勇ましいアバロンの女性騎士達の中でも、とりわけ団長である光の騎士は際立った力を持っていました。ペガサスにのった光の騎士は、10人のなかでももっともパワフルで強くさまざまな能力を持ち、頭の回転も速いので、騎士団の団長として、多くの信頼を得ていました。

彼女は光の使い手で光を使って守護と攻撃をおこないます

さらに彼女は、相手に幻影を見せ混乱させる力も持っていたので、一人で多くの相手を打ち倒すことができました。

アトランティスは、彼女の能力を羨み、アトランティスの方に引き込みたいと考え、彼女のもとに特別な力を持った魔法使い達を差し向けました。

彼女がアトランティスの兵士たちと戦っている間に、魔法使いが10人くらいで取り囲み、彼女の動きを魔法を使って止めました。

そして、彼女の記憶を奪い、アバロンの騎士の力だけを残して、アトランティスの意識に洗脳したのです。

彼女は今までアトランティスの兵士と戦っていたのですが、突然、今まで自分の仲間であったアバロンの騎士たちに剣を向けました。

自分の記憶も感情も失った光の騎士は、敵も味方も関係なく切り倒し、とてつもない力で相手を攻撃していきました。

残された女性騎士団と、洗脳された隊長が戦ったためにアバロンは一気に崩壊して行きました。

光の騎士は、この魔法をかけられたことで、彼女のエネルギーと封印の術が反発しあい、感情をなくすだけでなく、理性も自意識も失われ、コントロールが利かなくなり、自らもその破壊的なエネルギーに飲み込まれていきました。

彼女は、次々と罪もない村を襲い多くの人々を殺してしまいました。

彼女は、アトランティスの崩壊と共に海に沈んでいきました。

彼女のスピリットが肉体を離れたときを待って、私達は、彼女のスピリットを私達のもとにつれてきました。心も体もボロボロになり、スピリットのレベルまで大きな傷を負った光の騎士を、マーリンと宇宙の魔法使いによって六芒星が描かれた中に立たせ癒していきます。

○アバロンの最終兵器 月の騎士と時空の騎士 玲奈さん

アバロン軍の最終兵器としてマーリンによって作られたのが、玲奈さんのスピリットであるアバロンの月の騎士と時空の騎士です。

お姉さんである玲奈さんは月の騎士で双子の妹は時空を操る騎士です。

2人はそれぞれでも特殊な能力を持っていますが、マーリンによって2人で力を合わせて攻撃すると大変な力を生み出すように訓練されています。

其れは、月の騎士が、月のエネルギーを時間のエネルギーに込めると共に、時空の騎士が時空を開くことで、そこにブラックホールみたいなものを浮かび上がらせて、その中に敵を吸い込んでしまう魔法です。アバロンの魔法の最終兵器なのですが巨大なエネルギーが必要なので、1回しか使えません。

アトランティスはそのことを事前に知っており、この最終魔法をつかなくするために、初めから2人の女性騎士を引き離すことをおこないました。

騎士団やアバロンの兵士達がアトランティス軍にやられていく様子を見て月の騎士は他の騎士団を守護するために、その場所に走り寄ります。

その姿を見て、魔物が放った攻撃が月の騎士のハートにぶつかって大やけどをおいます。

そして、月の騎士がひるんだすきに、魔法使いによって、月の騎士のエネルギーは封印されました。

また、それを見ていた時空の騎士は、後ろから来た魔物に気づかずに、わしづかみにされてつぶされてしまいました。

このアバロンの最終兵器とも呼ばれた、2人の騎士が倒されることによって、アバロンとアトランティスの戦いは、悲しい結末を迎えることになりました。

アバロンの兵士も騎士も再び立ち上がることもできず、最後まで戦っていた魔法使いマーリンも倒されると、神官の塔も攻め落とされてしまいました。

アバロンの美しい聖地は、血と涙によってその歴史を閉じることとなったのです。

私達は月の騎士と時空の騎士の救出に向かいます。

マーリンが、玲奈さんの封印を解くために、体全体に描かれた紋章を消していきます。

本来、月の騎士は女性性を高めて女性的なパワーを解き放つ仕事をしています。

月の騎士は、もちろん月の神官でもあった女性です。

彼女は、月とコンタクトとして、月の女性性のエネルギーをアバロンに流していました。

健やかで美しい女性に育てたり、子育てをおこない女性的な愛や母性を分かち合うのも月の神官の力です。

月の神官と太陽の神官は、月のエネルギーと太陽のエネルギーのバランスを保ち、アバロンを平和なものにしておりました。

○アバロンの水の神官 芳江さん

アバロンの女性騎士と兵士たちが、アトランティスと戦っている間、アバロンの神官達も神官の塔と呼ばれる場所で、アバロンの精霊や騎士団と共に、祈りを捧げてアバロンを守っていました。

先に紹介した神官達の他にも、アバロンの最後の戦いで、神官の塔にこもって祈りを捧げていた神官たちや多くの動物たちを逃がそうとする神官達いました。

アバロンの水の神官をしていた芳江さんは、アバロンのセイレーンと会話をする水の神官でした。

彼女は、アバロンに流れる清らかな水が大好きで、水の神官の仕事をしていました。

アバロンを愛し、アバロンを守る仕事をしていたのです。

アトランティスが攻め込んできたときも、水の精霊たちに祈りを捧げていました。

しかし、敵の強力な魔法で精霊や騎士団が倒されていく様子を見るにつれ心からショックを受け、倒れてしまいました。

彼女も、最後の時に、マーリンから他の場所へ移され、アバロンの叡智を守るために生き残るように命じられましたが、彼女はあまりにも大きな絶望感ですべての能力を封印し、気力も感情も失っていました。

私達は、彼女を癒し、彼女の能力と感情を取り戻してあげました。

○動物たちを守る神官 恵美さん

アバロンの神官だった恵美さんは、とても心が優しい方です。

彼女は、とても美しいアバロンの世界で動物たちを守護するための神官でした。

神殿にいる時よりも、森や川の近くで動物や鳥たちと楽しく戯れていることが大好きな神官でした。

彼女の大好きな友達は、白い鳩です。

彼女はいつも、自分の腕に鳩を止まらせよく会話をしていました。

アバロンの結界が、アトランティス軍によって破られると、彼女は危険を顧みず、神官の塔を走り出て、森に向いました。

彼女が大好きだった動物たちを少しでも早く安全なところに逃がしてあげたいと思ったからです。

しかし、彼女が森につたときには、すでに、森の中にも兵士たちがなだれ込んでおり、魔物たちが投げつける火の玉で森は炎に包まれていました。

逃げ遅れた小鹿に、日の玉が向かって投げられた事を察知した神官は、急いで小鹿を抱きかかえ、小鹿の代わりに火の玉にあたって大やけどを負ってしまい、アトランティスの兵士たちの攻撃を受けて息絶えてしまいました。

私達は、その時代に戻り、彼女の心と体を癒していきます。

○神官達の要 アバロンの神官の長老 健二さん

アバロンの神官達を守り指導してきたのは、アバロンの神官の長老でしたが、この長老の記憶を思い出したのも、「宇宙の光」の長老的存在であるお世話係りの健二さんでした。

彼は唯一の男性お世話係りとして、数多い女性メンバーの中で「宇宙の光」の活動を今でも支えてくれています。

その時も同じ立場だったようですね。

アバロン時代の彼は、神官の塔のリーダーとして、数多くの女性神官達の指導と守護をしていたようですが、アバロンの最後の戦いでも、アトランティスが攻めてくるという予言を聞いてから、神官達による女性騎士団を組織したり、アバロンを守護するための祈りを強化したりなど、アバロンのために尽力していたようです。そして、戦いが起こってからは、孫娘たちと協力して、神官の塔の特別なクリスタルを使用してアバロンのために祈っていたようですが、彼は自分の持てるすべての力を使用して祈ったために、ついに体力が尽きて倒れてしまいました。

私達は、倒れた長老を癒し光に戻していきます。

そして現在の健二さんのスピリットをアバロンの時代にもどし、その時の長老と対面させます。

神官長が持っていたエネルギー、パワー、能力、叡智がどんどん健二さんに移されていきます。

健二さんの体に、黄金色の2重の輪がどんどん広がって、彼を輝かしていきます。

神官の長老のエネルギーが復活した様子に気づいて、たくさんの神官や騎士が、彼らの周りに集まってきます。

たくさんの祝福の光が、皆さんを包み、アバロンの復活に向けて大きな希望の灯がともりました。

○廃墟となった神殿に立ち尽くす神官、そして復興へ 京子さん

京子さんの過去生からの感情の箱を開けると、イギリスのストーンヘンジのような遺跡でひとり立ち尽くしている女性神官の姿があります。

彼女は、アバロンの最後の戦いの時に、魔法使いマーリンによって、神官の塔から他の場所へ移された神官の一人です。

神官達は、一人一人別な場所に移されたので、この戦いで生き残ったのは自分一人だと思い、大きな絶望感に囚われてしまいました。

彼女は仲間たちの魂を天に返すために、涙ながらに祈祷の歌を歌い弔っています。

自分の家族や仲間の神官、女子騎士団の名前を呼び、天使や精霊とともに祈っています。

彼女は、数日そこにいて祈りを捧げたようでした。

その後、彼女はあまりの絶望感と自分一人が生きていたという絶望感で、目もうつろとなり感情もなくし、自分の能力も封印して、人々から隠れるように生きていきました。

しかし、彼女の魂の中には、アバロンの記憶と神聖なる叡知が深く刻まれています。

マーリンが、アトランティスとの戦いを予期して、数名の神官達の魂の奥深くに、この記憶を埋め込んでいたのです。

そして、戦いの最後の時に、マーリンはその神官達を一人ずつ戦いが及ばない場所に空間移動させました。

たった一人でも生き残り、遠い未来に訪れるであろうアバロンの復興のために、その叡智をつなぐために生き残るように託したのです。

マーリンの魔法によって、神官達は何代も命をつなぎ、生き残ってきました。

そして、私達の時代に、アバロンを再興させるために、生まれかわり「宇宙の光」のメンバーとしてアバロン文明の復興をおこなう事となったのです。

私は、廃墟となった遺跡で、絶望的な気持ちで倒れこんでいる神官のもとにアバロン時代の騎士団や神官を次々と呼び寄せます。

まず、神官の塔の神官達が姿を現します。

予言の神官や長老と共に祈りを捧げていた神官達もあらわれます。

また女性騎士団たちもまるで何もなかったような顔してにこやかに現れます。

アバロンを守っていた精霊たちも、彼女をふんわりと取り囲みます。

気を失いかけた神官は、夢でも見ているのかと最初は思ったようですが、次第に、これが真実だと気付くと元気を取り戻し、にこやかな笑顔を見せています。

そして、その眼からは大きな涙がこぼれます。

○アバロンの叡智を封印された少女 遥さん

アバロンの復興を明日に控え、最後のライトボディ・ヒーリングのお相手は、御世話係りの遥さんです。

彼女の記憶は不思議な光景から始まりました。

彼女は、アバロンにすんでいた1人の少女です。

彼女はお姉さんと一緒に、山の上からアバロンが襲われている様子を見ています。

アバロンでは大きな音がして、戦いの音が繰り広げられている様子を姉妹は見ているのです。
彼女は、両親から、朝早くお姉さんと一緒に高い山に木の実を取ってくるように言われて山に登ったのです。

彼女達が山に登り続けて振り返った時に見た光景は、アバロンがアトランティスに襲われた光景でした。
彼女たちには、遠く離れた光景でしたが、自分の家族や周りの人達が倒されている様子が脳裏に浮かびました。
姉妹は恐怖に襲われて立ち尽くしています。

姉妹はマーリンによって発見され、アバロンの人達を転送した場所に移されましたが、そこには彼女たちの両親はいませんでした。

しかし数名の知り合いがいたので、彼女たちは、なんとか暮らすことができました。

彼女たちの父は騎士、母は神官です。

彼女たちは、このアバロンの未来を予言した神官の言葉によって、神官の長老から、アバロンの大切な教えや秘密をその魂の中に封印されるように言われて、母である神官がそのことをおこないました。

そして、アバロンで過ごした記憶と母親から伝授された能力を解放する時期になったら解放することとなっていたのです。

はるかさんはアバロンが復興した後、アバロンのクリスタルにアバロンの神聖な愛を吹き込む役目を託されました。

お母である神官は、その大切な愛を必死に守ってきた神官でした。

私達は、その時代にさかのぼり、その時の少女と遥さんのチャクラを一つにして、遥さんのハート・チャクラにアバロンの神聖なる愛を送り込んでもらいました。

アバロンの絶対的な愛、神官の叡智、守護の力が遥さんの中でどんどん目覚めていきます。

私達は、マーリンとお母さんである神官によって行われた遥さんのスピリットの封印を解いていきます。

とても美しく高貴な光りで、遥さんのハートが包まれていきます。

今アバロンの愛と叡智が私達のもとに戻り、アバロンの本格的な復興が始まります。

私達は、「ライトボディ・ヒーリング」のセッションで、今までにアバロンの記憶を持つ人達を癒すだけでなく、その当時にアストラトリップをして、神官や騎士団のスピリットを救い、マーリンと共に、アトランティスの魔法の封印を解いてきました。

そして彼らがこの時代のスピリチュアルの世界に生まれ変わる準備をおこなってきたのです。

私達は、今回、アバロンを最後まで守っていた騎士団や神官達の記憶を、「ライトボディ・ヒーリング」によって18人の魂から、この記憶をよみがえらせました。

そしてその記憶と叡智は、数日後に迫った星のツアーにおいて、アバロン文明の再興のための、ライトワークへとつながっていくのです。

私達は、地球の12神殿と宇宙の12神殿を目覚めさせ、地球と宇宙のアセンションに向けて大きく動いています。

現在、レムリア文明、アガルタ文明、ムー文明、そしてバミューダ・トライアングルの浄化とともにアトランティス文明の神殿達も復興させてきました。

次は、この18人の記憶の中に眠るアバロンの叡智を基に、アバロン文明の復興に取り掛かります。

第4章 アバロン復活の奇跡

PART1 アバロンの精霊と神官達

私達は、今日アバロンを復活させるために、今までの長い歴史を旅してきました。アバロンに生きていた経験を思い出し、アバロンの復活のために、この時代に生まれてきた仲間たちが、創造主や大天使達の導きによってここに集い、その魂の約束を果たすときが来たのです。

私達は、フェニックス号によって時を越え、古代のアバロンへと向かいました。時代は、古代のアバロンがアトランティスに攻め落とされる数日前の時代です。私達が来ることは、アバロンに伝えられた予言の書や予言の神官達によって、伝えられていたようです。私達が、アバロンに降り立つと、神官の長老を先頭に、多くの神官達が迎えに来てくれています。私達は、神官と肩を抱くようにして挨拶をします。

私達は船長や神官の方々が移動の計画をたてている間に、アバロンの神殿の様子を見に行くことにしました。私たちは、最初に、アバロンの町の中央にある広場へ降り立ちました。その広場は、お祝いの儀式をしたり、踊ったり歌ったりする広場です。

案内はアバロンの最後の戦いでクリスタルを持って、アバロンの平和を祈っていた「マザー」とよばれる神官が担当してくれることになりました。

私は、マザーにアバロンの神殿はいくつあるのかと尋ねました。

マザーは、私達ににっこりとほほ笑みながら答えてくれます。

「アバロンにとって最も大切な神殿は、神官の塔です。

神官の塔には、アバロンの生命と言ってもよいほどの重要なクリスタルがあります。

神官達は、ここにきて会議をおこないアバロンの未来について話をします。

またここでは、新しい神官の教育も行っています。

アバロンには、皆さんが考えているような神殿はあまりありません。

あるのは3つの神殿だけです。

其れは、騎士や神官達をエンパワーメントするための力の神殿。

そして愛の神殿と水の神殿です。

他の神官は神殿をもたず、自然の精霊たちとコミュニケーションを取りながら、祈りをおこなっています。

たとえば風の神官は風のふくところで、風を感じながら祈ったりします。

神官達は、自然の中に存在する6大エレメントと直接つながりながら儀式をおこないます。

力の神殿のように、場所が必要なものだけ、神殿を作って儀式をしています。」

私達は、今まで神殿という形にこだわりすぎていたことを感じました。

神殿の本質は、祈りのエネルギーをとどめることにあるので、アバロンの人達は、神官が直接自然の精霊やエレメントとつながることで、神殿という形式を必要とせずに、祈りを捧げていたようです。

もちろん、それは神官だけでなく、アバロンの人達が、少なからず持っている能力の様でした。

私は、マザーにアバロンのエネルギーを保つために、移動すべき必要がある物を尋ねます。

「アバロンのエネルギーを新たな時代に移し替えてくださることに深く感謝しています。神官の塔をはじめ、形のある神殿は、特別な役目があるので、移していただく必要があると思いますが、後は神官と精霊、そしてドラゴン達が新しい世界に行くことができれば十分でしょう。

ドラゴンは、全部で6体います。

6体のドラゴンがこのアバロンの上で六芒星を描き、絶えずアバロンを守護しているのです。

ドラゴン達のリーダーは、ひときわ大きい黒のドラゴンですので、彼の方から他のドラゴンに説明してもらおうとよいでしょう。

精霊や妖精、ペガサス達は、事情は分かっていますので、皆さんと共に行くことを心から喜んでいきます。」

PART2 アバロンの神殿

私達は、準備ができるまで、3つの神殿を順次回ることになりました。

最初は、水の神殿で、私達の体を清め癒してもらう事にしました。

ここは葵さんが、リーディングをおこなってくれました。

水の神殿の周りには、清らかな川の流れがあり、その水が神殿の中へと流れ込んでいます。

神殿は、透き通った水色のクリスタルのようで、光で輝いてキラキラしています。

大きな扉から中へ入ると、中央に広場があり数名の巫女さん達が働いています。

今から儀式をすとのことですので、私達は様子を見ています。

10人の騎士たちが、中央にならんでいます。まわりにはこの水の神殿を守護する精霊たちがいます。

マーリンが水の神殿を司る神官から何かをもらって、10人の騎士に渡しています。

騎士達は、それを持って水の神殿の祝福の泉へと入っていきます。

マーリンが、私達を手招きして呼びます。

私達は、一列に並び、マーリンと水の神殿の神官から何かを貰います。

祝福の泉へと向かうと、そこは森のように木々が繁っている中に小さな輝く泉があります。

そこに水の精霊がいて、ひとりひとりに泉の水をかけるようにして祝福を与えています。

心や体が疲労した人達には、癒しのエネルギーも送ってくれています。

メンバーの中には、肌もキレイになって美人になっていく感じを受け取った人もいます。

私達は、泉の中でしばらく瞑想していきます。

天からクリスタルの光が降りてきているようなイメージです。

PART3 アバロンの愛の神殿

次は、遥さんの案内で愛の神殿へと向かいます。

彼女は、とても敏感に愛の神殿のエネルギーを受け取っていて、もうすでに愛のエネルギーに包み込まれてい

ます。
愛の神殿の外観は、ギリシア風のような美しい神殿で、ラリマー石のような薄いブルーの色に輝き、ところどころにローズ・クオーツの様な優しい薄いピンクの色が輝いています。
神殿の屋根のところにはゴールドの彫刻のようなものが描かれていて神々しい光を放っています。

神殿の入り口には3～4段の階段があって、そこを上がっていくと、神殿の中からたくさんのハーブやアロマのような香りが伝わってきます。
神殿の中では、たくさんの妖精や神官たちが美しい姿でハーブを弾きながら歌を歌っています。
愛の神殿には、アバロンの愛と調和と叡智のエネルギーはもちろん、すべてのエネルギーが神殿に満ちているのです。

神殿の隣には美しい広い庭があり、色とりどりのバラの花が咲き、たくさんの美しい蝶々もとんでいます。
妖精達もそこで楽しそうに踊っていますし、ユニコーンやペガサスたちもそこで楽しくくつろいでいます。
妖精たちの仕事は、この愛の神殿の花から1滴1滴エッセンスを集めることです。
アバロンの太陽の光のパワーとエッセンスを合わせることで、妖精たちが集めたエッセンスは濃い愛のエネルギーに変わっていくのです。

愛の神殿の神官が私達の前に現れてきました。
「みなさん、ぜひ今日ここで愛のエッセンスを受け取ってください。
この愛のエッセンスは、皆さんのスピリットの中の愛のパワーを目覚めさせてくれます。
自分自身への愛、家族への愛、まわりの人々への愛、そして地球への愛。
皆さんが、皆さんを愛してくれる友人や出逢ったすべての人達の愛に目覚め、感謝の気持ちを持つことで、皆さんの愛はどんどん広がり、やがて大きな愛として目覚めていきます。」

この愛のエッセンスは、皆さんが持つ愛をさらに豊かにして、地球と宇宙に存在するすべての生命に対する愛を目覚めさせてくれます。
この愛のエッセンスの1滴1滴は、まるでダイヤモンドが輝く宝石のようなエッセンスですので、皆さま、ぜひ受け取ってください。」
私達は、愛の神殿の神官から愛のエッセンスを受け取り瞑想しました。

ペガサスたちも、祝福を送ってくれています。
愛のエッセンスが1滴ずつ私たちのハートの中に入れられています。
そしてスピリットを通して、私達の中にあるすべての愛のエネルギーを統合していきます。
愛の女神の神官が、私達のハートに語りかけてきます。
「愛がなければ何も目覚めません。
この宇宙のすべての星、そして地球すべてが愛を必要としています。
皆さんはぜひ輝く愛の存在となって、これからも地球と宇宙のために輝いてください。」

PART4 エンパワーメントの神殿

愛の神殿を出ると、アバロン時代に力の神殿の神官であった亜理紗さんに力の神殿を案内してもらいます。
力の神殿は、騎士や神官達をエンパワーメントし勇気づけるための神殿です。

神殿の中央には、広場のようなところがあり、そこで儀式を行います。

4方向にギリシアの神殿のような立派な柱が立っていて、中央は石で魔方陣のようなサークルのようなものができています。

10人の女性騎士も、アトランティスとの戦いに行く時、女性騎士のスピリットが目覚め、彼女たちが持っている魔法の力や能力が、さらにパワーアップするためのエンパワーメントの儀式が行われました。

この神殿でエンパワーメントの儀式を行うためには、風の神官と火の神官、そして精霊たちもが必要です。ここは壁がなく柱だけの吹き抜けのようになっている神殿ですので、火を四隅に焚いて火のパワーを高める必要があります。

そして吹き抜ける風の力で、儀式を受ける人と自然界の精霊の力を一つに統合し、能力を目覚めさせていくのです。

火の神官、風の神官もこの儀式のために、力の神殿にやってきてくれました。

力の神官たちが中央に集まり、宇宙の光のメンバー一人一人をエンパワーメントする儀式をしています。

私達はハートに手をあてて、亜理紗神官からエンパワーメントのエネルギーを送ってもらいます。

メンバーたちのハート・チャクラがキラキラ輝くと同時に、エンパワーメントの光によって、スピリットがふたまわりもみまわりも大きくなっていくように見えます。

亜理紗さんが、力の神殿の神官の言葉を伝えてくれます。

「それでは今から、皆さま方にエンパワーメントの儀式を執り行います。

ひとりひとりが持つスピリットの力を最大限に活かすために、先ほど水の神殿、愛の神殿へといざなわせていただきました。

皆さんはそこで、自然界からの祝福と至高の愛を受け取り、とてもパワフルになったことと思います。

そして力の神殿では、火の神官たち、また風の神官たちと共に、すべてのエレメントのパワーをあなた方のハートの中へと送りこみます。

あなた方はすべてのエレメントをハートの中に統合し、さらに完全なるスピリットへと変容していくのです。

あなた方がここへ集うことで、アバロンの叡智を再び呼び戻すことができます。

このような日が来ることを、私達は心から待ち望んでおりました。

頭上には、私達の守護者であるマーリンが、私たちの儀式を無事に執り行えるように見守ってくださっております。

そして全ての神々たち、精霊たち、宇宙の存在たち、また天使たち、そしてあなた方のスピリットと共にいるドラゴンたちにも、エンパワーメントの儀式を執り行いたいと思います。

皆さま、ハートに意識を繋いでください。

そして私たち神官があなた方の頭上に、黄金に輝く剣をかざしてまいります。

そうすることで、全てのエネルギーがあなた方の頭頂からハートを通して、よりいっそう輝きを増していくことでしょう。

それでは、感じてください。」

私達は瞑想に入ります。

「私たちはアトランティスとの戦いにより、10人の騎士を、戦いに送り出すことをいたしました、あなた

方には、騎士として戦いに挑むのではなく、この力を携えて、これから12神殿を復興するためのさらなる輝きを増すためのエンパワーメントの儀式をおこないます。

私たちは、争いをしたくてやっていたのではありません。

このアバロンの叡智を護るために、やむを得ず戦いという形になってしまいましたが、全ては平和を望む愛の源であるということに、変わりありません。

あなた方が愛に気づき愛に目覚めることで、全てが変わっていくのだということに気づいてください。

様々な叡智を携えているあなたたちだからこそ、できるのです。

これから起こる様々な出来事を、愛によって解決して行ってください。

あなた方の中に流れる清らかな愛の源と愛の叡智によって、あなた方人間は形造られているということに気づいてほしいのです。

様々なことを経験して、私たちも辛い感情や悲しみを味わいました。

ですが、私達は、アバロンが復興されて、また新たに生き返ることを許されました。

本当に、感謝以上の気持ちはありません。

ですから、この感謝を多くの方々に伝えて行ってください。

愛というエネルギーが、全ての闇を包み込むということを忘れないでください。

そうすることで、真のあなた方の姿へと変わっていくのです。

これから、あなた方は地球のアセンションという目的に対し、あなた方自身もアセンションしていかなければなりません。

幾多の苦難を乗り越えてきた皆さま方ですからこそ、どうか、さらなる愛に目覚めて、その愛を伝え素晴らしい地球へとまた素晴らしい宇宙へと、すべての生命をいざなっていくてください。

こうしてあなた方を送り出すことができた事に、私たち全ての神官は、大きな喜びを持ってエールを送っていきたいと思います。

本当にありがとうございました。」

PART5 アバロンの復興

水の神殿の祝福、愛の神殿の愛のエンッセンス、そして力の神殿でのエンパワーメントは、本当に素晴らしいものでした。

私達は生まれ変わったようなエネルギーを全身に受け取っていきます。

フェニックス号たちの準備が整ったようですので、私達はフェニックス号へと戻ることにしました。

アバロンの神殿やドラゴン達を、移動させるために、フェニックス号のほかにも、ユニバーサル・パレスのメンバーたちの宇宙船が4隻ほど来ています。

宇宙船から光が放たれて神殿やドラゴンたちが小さくされて、宇宙船の中に収容されていきます。

フェニックス号を中心に、5隻の宇宙船が時空を超えて現代へと戻っていきます。

私達の船は、時空を超えてどんどん現代へと戻ります。

私達は、フェニックス号の船長たちとどの場所に新たなアバロンを生み出すか相談して、ストーンヘッジの上空に新たなアバロンを形成することにしました。

私達は、宇宙空間を作る働きをしてくれる永遠の創造主にお願いして、その場所にアバロンの新しい次元を作ってもらった事にしました。

永遠の創造主が両手をパーンとたたくと、そこに新たな次元の入口が現れます。

私達の宇宙船は、その入り口から吸い込まれるように、中へ入っていきます。

新たなアバロンでは、とても速いスピードで光が吸い寄せられ、空間が固まり大地が生まれてきます。

アバロンの新しい大地がどんどん創られていく様に、皆さんが驚いています。

永遠の創造主が、両手を開いて新たなアバロンの次元が生まれたことを、私達に教えてくれます。

フェニックス号と仲間の宇宙船からは、アバロンの神官達と話し合った通りの配置で、神官の塔と3つの神殿が降ろされます。

神殿は、地上にレーザービームの様な光りで降ろされると、元の大きさに戻っていきます。

そしてドラゴンたちも次々と空に放たれていきます。

ここから、新しいアバロンの世界が創られていくのです。

準備が整ったら、宇宙船も地上に降り立ち、アバロンの神官やフェアリー、精霊たちを新たなアバロンに降ろしていきます。

新たなアバロンに、空と山々が形作られ、森や湖ができてきます。

ドラゴンたちが、空を舞い、あるいは地上に降り立って、アバロンの大地と空を一生懸命創っています。

精霊やペガサス達も手伝っています。

草花が生い繁ってくると風の精霊がとびまわり、エネルギーを整えています。

光の精霊は植物たちに光のエネルギーを与えて活性化しています。

妖精たちも次々と生まれ、植物や小さな動物たちのお世話を始めました。

きれいな野原もどんでんできあがり、素敵な森ができあがっていきます。

山には湖が沸き起こり、そこから川が流れだし、大地を潤していきます。

アバロンの自然が出来上がると6体のドラゴンによって、この世界が守られるように結界が張られて行きます。いつまでも清らかなエネルギーを保持し、新たな精霊の国として栄えていくように。

神官の塔も、アバロンの中心でと大きく輝き始めます。

これからもドラゴンや精霊や神官達が協力してアバロンの新たな山々や森、川を生み出していくことでしょう。きっとそこには、美しい花々が咲き、かわいい動物たちもたくさん生まれ、この世界を愛のある家族で満たしていくことでしょう。

PART6 アバロンのクリスタルを目覚めさせる

私達は、アバロンの神殿達が出来上がったところを見計らって、神官の塔に降り立ちます。

神官の塔の中心とも呼ぶべき巨大なクリスタルのところへ集まります。

このクリスタルこそが、アバロンの生命とも呼ぶべきクリスタルで、アバロンの神聖なる愛と叡智の源です。

アバロンの神官達もクリスタルの周りに集まってきました。

皆さん膝をついて、クリスタルと自分自身のエネルギーを同調させています。

私は、レムリアやアトランティス、ムー、アガルタの神官達を呼び寄せ、このアバロンのクリスタルと各文明の中心的なクリスタルを光につなぎ同調させていきます。

時間と空間を超えて存在していたレムリア、アトランティス、ムー、アガルタの多くの神官と神殿、そしてクリスタルが光で繋がれていきます。

アバロンの復興が行われるときに、その時のためにアバロンの叡智と神聖なる愛を、自らの魂に秘めていた宇宙の光のメンバーである遙さんが、アバロンのクリスタルの前に立ちます。

彼女のスピリットは、アバロンの女性神官と騎士の間に生まれたスピリットです。

そしてアバロンが崩壊することを予見した両親によって、アバロンの神聖なる叡智と絶対の愛のエネルギーをスピリットの中に封印され、アバロンが復活するときまで保ち続けて来たのです。

そして、今日その時がやってきました。

私は、遙さんに、アバロンのクリスタルの前に立ち、アバロン復興のために、クリスタルにアバロンの記憶を灯すようにお願いしました。

遙さんとアバロンのクリスタルがすごく輝いています。

光が強すぎて吸い込まれそうです。

「地球全体が、愛と平和に満たされ、調和と希望が生まれてくる。」という言葉が浮かびます。

いまから地球は、そのような場所へと向かうようです。

そこにアバロンの守護者でもあるマーリンが現れ、アバロンの復活を記念してメッセージを伝えてくれました。遙さんがマーリンの言葉を私達に伝えてくれます。

「今日ここにアバロンが無事復活致しました。

このアバロンが復活することで、地球にまた夢と希望が生み出されました。

今まで幻と言われていたユニコーンや精霊、妖精の姿がこの地球でも、また姿を現わすことでしょう。

アバロンは、夢そのものです。

みなさんが幼い時に想像していたものが、まさにアバロンにあります。

アバロンが復活した今、皆さんはまた妖精と精霊、そしてユニコーンたちと戯れることができるでしょう。

どうかその事を存分に味わい、楽しんでみてください。

どうか夢の中で生きるような気持ちでいてください。

これからこの地球はどんどんと光を増していきます。

そしてその光によって、自分の中にあったネガティブな部分が出てくることでしょう。

そのネガティブなもの向き合うとき心は疲れ果てます。

そのようなときにどうぞ、ユニコーンたちと遊んでください。

そうすることで、心は癒され、魂も癒されます。

そのためにここアバロンがあるのです。」

私達は、アバロンのクリスタルと共に祈りを捧げ、アバロンの光がこの地球に人がっていくことを祈ります。このアバロンの復活は、私達に、新たな時代を開きます。

其れは、この地球がアトランティスの呪縛から解き放たれるという事です。

そして、アバロンが復活することで、アバロンにつながる新たな世界が、これからも目覚めていくのです。

そして、それは、古代文明だけでなく、私達のスピリットにも大きな変化をもたらすこととなりました。

第5章 プレアディアスの至高の愛

PART1 プレアディアス人達を変えた排他的な愛

私達は7月6日の月曜日に、アバロンを無事に復興させました。

アバロンの復興を前に、メンバーの皆さんに対するライトボディ・ヒーリングでは20名近くの人達から、アバロンの記憶が思い出されてきました。

その記憶は、アバロンの神聖なる叡智と絶対的な愛を目覚めさせ、アバロン文明の復興を行うために、アバロンの神官達が、今の時代のために封印してきた記憶だったのです。

アバロン文明が復興した翌日からの「ライトボディ・ヒーリング」で行われたのは、プレアディアス星団に生きていた記憶を持つスピリット達の癒しでした。

この時期になると、ライトボディ・ヒーリングも2回目、3回目を体験する人達も増えてきて、皆さんのスピリットの秘密がどんどん解き明かされてきます。

そして数名の方のスピリットの記憶によって、プレアディアスの人達と地球の関係が明らかになってきました。

もともと、プレアディアスの人達は、制限のない豊かな愛と調和の世界に生きていた存在でした。

地球のように、1対1のペアが排他的に愛情をはぐくむというのではなく、複数の人達と愛を育み、お互いを慈しむという関係でした。

そこには、一人の相手を独占しようという感情やあるいは契約によってお互いの関係を制限しあうという関係はなく、お互いが尊厳を持って多くの人と崇高なる愛を分かちあっていたのです。

ところが、そのような自由で大らかな感情を持っていたプレアディアス人達に大きな変化が生まれてきました。其れは、どこからともなくプレアディアスに入りこんできたネガティブなエネルギーによるものでした。

ある者は、それがプレアディアスに悪い影響を与えることを懸念して、そのガスを処理しようとして、そのネガティブなガスに囚われてしまったもの達もいました。

またある者は、そのガスを研究して、プレアディアスの人達を救うための遺伝子や薬を作る過程で、そのガスのエネルギーに取り込まれてしまった人達もいました。

そのガスの影響を受けると、プレアディアスの人々に感情の変化が起こり始めます。

今まではとても大らかに愛し合っていたのに、相手を独占したいという感情や好きな人が他の人と一緒にいることを嫉妬するような排他的な愛へと変わっていったのでした。

またそれは、自分の愛する人に対する感情だけでなく、一緒に仕事をしている人達に対するライバル心や妬みなどの感情も生み出してしまいました。

このことは、本来分け隔てのない純粋な愛によって、支えられていたプレアディアスの社会に大きな混乱をおこし始めました。

このネガティブなガスによって、プレアディアス人が本来持っていなかった感情に目覚めてしまった人達は、プレアディアスの一般的な社会から隔離され治療を受けることになりましたが、そこで治療にあたっている人達にもその影響が出始めてしまったのです。

そして、その影響で美しく純粋だったプレアディス星団にも、裏のプレアディスという世界が生まれてきました。

其れはネガティブなガスによって意識をコントロールされてしまった人達が集められる場所となっていたのです。

PART2 プレアディスからアバロンへ

しかし、多くのプレアディスの人達が、そのネガティブな感情を癒し、プレアディス人の本来の感情に目覚めるために、地球に送られました。

プレアディスの人々は地球に降りてきて、再びプレアディスの「至高の愛」を学ぶために、プレアディスの樂園をまねて古代文明を作りました。

その一つが「アバロン」だったのです。

アバロンは、地球に降り立ったプレアディス人が、排他的な愛から脱却し「至高の愛」「調和に満ちた愛」を学び実践するための場所だったのです。

しかし、そのアバロンがアトランティスによって破壊され、その愛を封印されてしまいました。

そして、アバロンだけでなく、他のいくつもの文明がアトランティスや闇の力を受けた存在によって封印されていたのです。

しかし、今回アバロンが復活し、アトランティス自らが自分に課したバミュエダ・トライアングルが浄化されることで、この地球の重たいエネルギーがどんどん解き放たれていくことになりました。

そのことによって、私達の魂の奥深くに眠る「プレアディスのスピリット」が再び目覚めてきたのです。

アバロンの復興後、7月6日から行われた「ライトボディ・ヒーリング」のセッションでは数名の人が、自分がプレアディスでどのような生活をしていたのか、そしてどのような感情に囚われたために地球に来たのかという事を思い出していきます。

おそらくアバロンの過去生を思い出した人は、ここからさらにプレアディスへとつながることでしょう。

そしてその中でも数名の方は、プレアディス人の本質とも呼べる「ハート・クリスタル・エルフ」と呼ばれる美しい愛の存在と自分自身を一つに統合することもできてきました。

「ハート・クリスタル・エルフ」はとても美しい存在です。

透き通るような体と美しい瞳の色、そして純粋な愛をもって生きています。

彼らの仕事は、ペガサス騎士団と共に、プレアディスや私達の宇宙を愛の星に導くために働くことです。

彼等との統合は、とても美しい光で彩られながら起こります。

PART3 プレアディス人に仕掛けられた罠

しかし、ここに大きな問題が起きてきました。

其れは、プレアディス人のスピリットは、とても高貴で素晴らしい光を持つものであるがゆえに、そのスピリットや魂を手に入れるために多くの罠が仕掛けられたのです。

闇の世界の存在達にとってプレアディス人のスピリットは高価な値段で取引される商品であり、それを手に入れる事によって自分の望みをかなえることができる最大の宝物なのです。

彼らはプレアディスと地球に、プレアディス人たちを捕えるための罠を仕掛けました。

プレアディスでは、多くのプレアディス人達が、ネガティブ・コードを入れられた存在達によって捕えられ、ガラス箱の中に閉じ込められ、そのエネルギーを奪われていました。

私達は、先日 M さんのセッションにおいてその存在を発見し、その存在を光の存在に返すと共に閉じ込められたプレアディス人達を解放してあげることができました。

地球に降り立っていた京子さんのスピリットの一部も、その罠によって囚われ、箱の中に閉じ込められていたので、彼女は、無事に自分のスピリットの一部を取り戻すことができたのです。

またある人のスピリットは、あまりの恐怖と絶望のために、その箱の中からでる事さえもためらっていましたが、大天使たちによって癒されることで、そのガラス箱の中から出て元のスピリットと統合されていきました。

地球にも、多くの罠が仕掛けられました。

幾人かに共通した出来事は、ムーやアバロンの太陽の神官達に向けられた罠でした。

神官達が、自分達の文明が守護されるように祈った時、そこに現れたのは太陽神でなく、太陽神の姿と名前を借りた「闇の存在」たちでした。

彼らは神官達にとても大きなパワーと能力を与える代わりに、神官達のエネルギーとスピリットを奪っていくための契約を結びました。

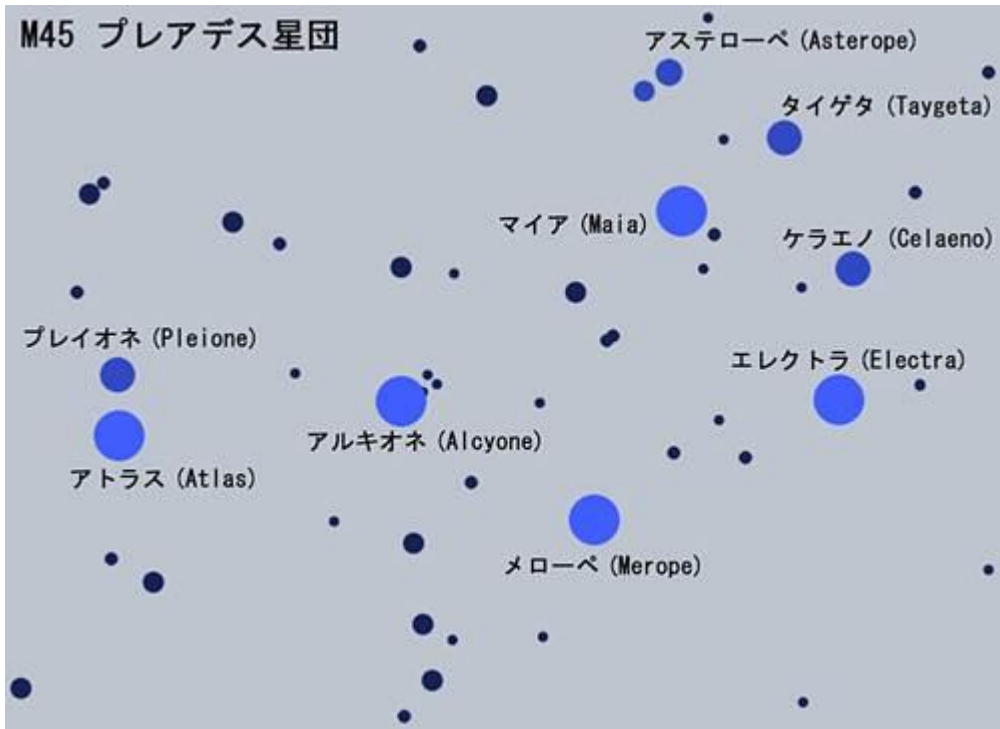
またさまざまな状況の中で、プレアディス人は愛にまつわる試練を受けることとなり、自分の弱さに負けていった人達は、闇の存在にその身を委ねることとなっていったのです。

プレアディスから地球に送られることで、地球人として暮らし始めた彼らは、プレアディス人としての記憶と能力を閉ざされ、地球における愛のあり方を学ばされると共に、闇の存在達からのさまざまな妨害と誘惑に打ち勝たなければならなくなったのです。

そして、地球に送られてきたプレアディス人達は、さまざまな学びを経て、至高の愛へとたどり着かなければ、プレアディスに戻ることはできないのです。

私達は、皆さんの中に仕掛けられた罠を解除し、自らのプレアディス人としての資質を解き放っていきます。もちろん、自分のスピリットがプレアディスでなかったとしても、彼らが目指した「至高の愛」を知ることは非常に素晴らしいことです。

私達は、その本質が、プレアディス人であるとなかろうと、この崇高な愛を身に着け、地球の残された文明をさらに復興し続けなければならないのです。



PART4 プレアデス星団への再訪 マイヤー星

私達は、私達の魂の故郷ともいえるプレアデス星団へと向かいました。

プレアデス星団へと入るためには、まずプレアデスの入り口ともいえるマイヤー星へと入らなければなりません。

マイヤー星は、私達の意識を癒し浄化してプレアデス星団に入る準備をしてくれます。

マイヤー星には、イルカやマーメイド達が住んでいる海があり、まるでハワイのような明るい優しい感じがする星です。

フェニックス号で到着すると、ペガサス達と共に数名のマスターが出迎えてくれました。

「皆さま、お会いできてとても光栄です。

今から皆さまをこの星にご案内致しましょう。

マイヤーはとても豊かで温かいエネルギーに満ちた星です。

この星の愛と癒しのエネルギーを一杯受け取って下さい。」

私達はマイヤー星で、心と体とスピリットを癒す為に「神聖なる癒しの湖」に連れて行って頂く事になりました。

マイヤー星の草原を越えていくと、とても美しい湖が目の前にあらわれます。

太陽の光がさんさんと降り注ぎ、愛と癒しのパワーに満ちあふれた湖です。

湖に入ると私達の細胞がどんどん癒しのエネルギーを吸収していきます。

この癒しの泉には、イルカやたくさんの魚達も楽しそうに泳いでいます。

マーメイド達も美しい歌声で歌っています。

沿岸には美しいハイビスカスなどの南国の花が咲きほこり、ペガサスや妖精達がとても楽しそうに遊んでいます。

この星では全ての植物が愛に満ち、優しい波動で溢れています。

マイヤー星のマスター達が、メンバー全員にハワイのレイのような花輪を首にかけて下さいました。

「神聖なる煌めきの湖にはたくさんの精霊のエネルギーが溢れています。

皆さんがマイヤー星のエネルギーに触れる事によって、皆さんのスピリットの中の疲れと埃を落として、愛に目覚めやすくさせてくれます。

この湖は、太陽の光が当たっている「昼の湖」と夜の月の光が当たっている「夜の湖」に分かれています。この2つの湖のエネルギーにつながることによって、皆さんの中にある陰と陽のバランスを統合してくれます。皆さん、まずお好きな方に入って頂いた後、反対側の湖に入ってエネルギーをしっかりと吸収して下さい」

マスターはそう説明すると、私達に湖に入るようすすめます。

湖に入ると私達の周りをマーメイド達に取り囲み、歌を歌い出します。

その美しい歌声と煌めきの湖のエネルギーにより、どんどん癒されていきます。

PART5 プレアディアスのセレーノ(ケラエノ)星

セレーノ星は、マイヤー星のすぐ横に位置する星で、ここでは歌や踊りで人生を楽しむことが行われています。セレーノ星に降り立つと、イタリアの街並みを想像する様な石畳の道が続いています。この星は緑豊かで、鳥のさえずりがきこえ、優しい光が満ち溢れている星です。

セレーノ星に住んでいる人達はとても仲が良く、中央の広場で幾つかのグループに分かれて、男女が楽しそうに歌ったり踊ったりしています。

彼らは、愛を讃える歌や生命の尊厳を讃える歌を歌っています。

声がとても澄んでいて、鳥のさえずりの様な美しい歌声です。

彼らは歌や踊りで愛を表現し、お互いを愛し合い、癒しあったりしています。

プレアディアスの愛というのは、至高なる愛、おおらかな愛です。

地球のように、結婚の約束をして、相手を結婚関係で縛り独占するのではありません。

男性も女性も共に性別を越えて、お互いを慈しみ、優しい目で見つめるような暖かい愛に溢れています。

私達は、この愛を受け取る事によって、私達の本質でもある至高なる愛に目覚めていく事が出来ます。

プレアディアス星団には、プレアディアスの星々や周りの星々を守護し導くためのプレアディアス連合があります。プレアディアス連合は、高次の愛を他の星の人達にも分かち合う事と人が生きる道、生きる法則、宇宙の法則を教え、誤った道を進もうとする人達を諭していく二つの役目があります。

その中でも、セレーノ星は、素晴らしい愛のエネルギーを保っている星です。

このセレーノ星のマスターは、私が愛の女神セレーネと呼んでいるマスターです。

「皆さま、ようこそセレーノ星へお越しくださいました。

ここはとても豊かな愛に満ちあふれた平和な星です。

皆さんがここへ来て下さった事で、この星の愛のエネルギーを存分に受け取って頂くことができると思います。

かつてこの星もネガティブなエネルギーが入り込み、愛の崩壊へとたどってしまった時期もありました。

数年前に TAKESHI さん達がプレアディアスの星を守って下さった事で、再びセレーノの星は素晴らしい愛の星へ

と変わっております。

全ては愛であること。

あなた方が自らの魂に愛を見い出だしていくことで、あなた方の大切なパートナーや家族、またあなた方のまわりの人達へ、その愛を分かち合って行ける事となるでしょう。

まずは皆さんがこの星に来て、愛の光を身体中に味わってみてください。

そうすることで、魂に傷を負った方、心に悲しみ不安や恐れなどのネガティブな感情を持っている方々を癒していきます。

それらの感情を癒せるのは、唯一愛の力だけなのです。

皆さんが、私達の愛に触れる事によって、本来の愛の姿に目覚めていかれる事を私は心から望んでおります。

全ては愛となり、愛そのものへと変化していきます。

どうか、この至高の愛を存分に味わってみてください」

PART6 プレアディスで起こった愛の学び

更にセレーノはプレアディスで起こった出来事を話しはじめます。

○プレアディスをおそったネガティブなエネルギー

皆さんは、このプレアディスの星で自らの愛を思い出すために、ここに戻ってきてくれたのですね。

たくさんプレアディスの人達が、この星で起こった悲しい出来事によって地球へと移って行きました。

プレアディスは本来、もともと豊かな愛に満たされた星でしたが、ある時、私達の心を混乱させる出来事が起こってしまったのです。

それはプレアディスを襲った、正体不明のネガティブなエネルギーに触れた人達から起こりました。

まるで病気に次々と感染していくようにその人達は自分の感情を持ち始めました。

それは自分だけを愛してもらいたい、愛する人を自分のものにしたい。

あるいは、自分以外の人達が素晴らしい存在である事が認められない、という様な嫉妬や妬みの感情だったのです。

本来プレアディスの人達にはその様な感情はありませんでした。

しかしながら、私達はその感情をどの様に対処するかという事を学ぶ必要があったのです。

独占欲や支配欲、あるいは自分だけを愛してもらいたい、あるいは自分だけがあの人を愛したいという気持ちから自由になる為に多くの事を学びました。

私達は愛についてもう一度学びはじめたのです。

そして私達の中にあるその様な愛のエネルギーを更に至高なる愛へと変えていくために、創造主達の光を再び得る事にしました。

私達のスピリットの中にある愛の力を目覚めさせるために、至高なる愛の創造主や崇高なる創造主の光を私達は分かち合っていたのです。

そしてその過程において、私達はこの愛がなんのためにあるのか、という事も学びはじめました。

それは私達が分離を体験し、更に統合されていく一つの過程となったのです。

○自意識によって生まれた嫉妬心や妬み

かつてプレアディスの人達は、自分と他人という区別があまり明解ではありませんでした。相手も自分の事の様に愛し、そして相手からも愛されるという関係の中で、1人1人を区別するという必要はあまりなかったのです。

もちろん色々な役目や仕事がありますから、その仕事の中では自分自身を区別するという事は必要でした。

しかしながら、それよりも大きな愛のエネルギーによって私達は満たされていたために、自分と他人を区別する必要はなかったのです。

しかし、そのネガティブなエネルギーは自分と他人を分離するという感情を作り出したのです。

自分は自分。他人は他人。

今地球の皆さんが感じている「分離」あるいは「エゴの成長」あるいは「自意識の目覚め」というものですね。

それがプレアディス人である私達にも起こったのです。

私達は自分のエゴを満たすために「愛」というものをその道具として使いました。

自分の自意識を満たすために、愛によって寂しさや悲しさを埋めようとしたのです。

私達は私達が愛する人、誰か1人の人を求め続けました。

そのために私達の中に嫉妬や憎しみの感情が生まれました。

皆さんが愛する人から振り向いてもらえなかったり、あるいは愛する人が自分の元を立ち去った時、とても大きな苦しみや悲しみを感ずますね。

私達もその事を感じはじめました。

今までは自己の分離、エゴの分離がなかったために、その事を感じることはありませんでした。

また特定の人を特定の感情によって愛することはありませんでした。

また特定の人を束縛したいという感情もありませんでした。

私達はそういった感情を持つ必要がなかったのです。

なぜなら自分自身と愛する人は常に深い所で繋がっており、また多くの人達も同じ場所で繋がっていたからです。

もしあなたが、特定の人を愛したとしても、その人が自分を愛する様に他人を愛するという事が、私達にとって非常に嬉しかったのです。

自分を愛してくれる事も、あるいは自分以外の人を愛してくれる事も同じ事だったのです。

でも私達は自分自身が他人とは異なるという事を感じ始めました。

そのために自分を愛してくれる時は幸せだけど、自分以外の人を愛している時はとても寂しい、とても切ない感情が芽生えて来てしまったのです。

私達はその様な感情に振り回される事によって、このプレアディスの星々に大きな混乱をもたらしてしまいました。

今、地球の皆さん方が体験している事と同じです。

ネガティブなエネルギーによって分離感を目覚めさせられた人は、愛する人を独占するために様々な事をしようと思いました。

あるいは、愛する人から愛を得るためにその人の注意をひいたり、あるいは愛する人が他の人を愛する時、その人を傷つけたりする事が起こってしまったのです。

○本当の愛を学ぶために地球に送られた人達

プレアディスの社会は、その事を大変危惧しました。

そして、その様な症状になった人達を一般の人達とは違う世界へと隔離する事となったのです。

皆さんが伝染病の人達を隔離して、自分達に感染しない様にする事と同じなのです。

そのエゴの目覚め、嫉妬、妬み、その様な感情が他のプレアディスの人々に伝わらない様にしたのです。

ある一部の人達はプレアディスの裏の星、裏のプレアディスと呼ばれている所に送り込まれました。

その人達はあまりにも、嫉妬や支配欲に捕らわれていて、多くの人達にとても良くない影響を与えていたからです。

また一部の人達は、再び愛を学び直すために地球へと送られました。

地球に送られたプレアディスの人達はその地球の中で何度も何度も生まれ変わり、本来の自分自身の愛を見つけるために努力を行う事となり、多くの苦勞と学びを得ることになりました。

しかし、彼らは、プレアディス人というだけで、余りにもその素晴らしい光の魂ゆえに、多くの存在達の干渉をうける事となりました。

また、プレアディスから地球に送られた人達の中には、地球に送られたプレアディス人の魂を心配して、そのスピリットを見守るために地球に行った存在もありました。

あるいは、愛の感情に狂った人達から追いかけられるかのようにして、地球に逃げて行った人もいたのです。

私達は、地球の中で新たな愛の学びを行っていく必要が出来たのです。

地球人として生まれ変わったプレアディス人は、地球の中で様々な愛を学びはじめました。

時として「神の愛」と呼ばれるような素晴らしい愛を得ることもありましたが、この地球の物理的な制限のために、その人生の多くは苦しく切ない愛の体験を積み重ねる事になってしまったのです。

時には愛のために嫉妬に狂い、何か闇の存在の力を借りて愛の力を得ようとした時もありました。

あるいは時として、あなたの中にある素晴らしい愛を奪うために、闇の存在から干渉される事もありました。しかしながら、あなた方は、その様な愛を繰り返し体験する事によって、今までにない素晴らしい愛を更に学んでいくこととなったのです。

そして、今皆さんはこの宇宙の光へとたどり着きました。

宇宙の光にたどり着いて、この宇宙のすばらしい光を感じてくださいました。

あるいは、宇宙を共に創造する事により、創造主達からの素晴らしい光のエネルギーを受け止める事も行いました。

それらの活動を通して、皆さんは、本質的なプレアディスの愛へと目覚めていくことが出来るようになって来たのです。

では、深呼吸して下さい。

地球に送られた偉大なるプレアディス人のために、プレアディスだけでなく多くの星のマスター達が集まって来ています。

あなた方のプレアディス人のスピリットを妨げる様々な愛の感情や様々なネガティブなエネルギー、そして余りにも発達したエゴ、あるいは自意識、そういったものを光で溶かしていきましょう。

あなた方の中に再びプレアディスのスピリットが戻ってくるために、私達はここにプレアディスの覚醒の光を準備する事を約束しました。

いつか必ず、このような時が来るという事を私達は信じていたのです。

もちろんプレアディスから地球にとても多くの魂達に移っています。

それは1万人とか2万人という数ではなく、もっともっと多くの数の魂が地球に降りたって来たのです。

しかしながら、その中のとても優秀なグループであるあなた方の魂が目覚める事によって、プレアディスの魂達がこれからさらに目覚めていきます。

プレアディスが自分達の愛を学ぶために創ったレムリアやアバロン、そしてその他の文明達は、皆さんの地球から失われてしまいました。

しかしながら、皆さんが、その文明の叡知を再び目覚めさせる事によって、皆さんはこのプレアディスのスピリットと深く繋がり、たくさんのプレアディスのスピリットを目覚めさせるお手伝いが出来るのです。

プレアディスのスピリットの本質は、その多くのスピリット達が深い場所で一つに繋がっているという事です。もちろん、余りにも強い自意識やエゴによって自分自身がプレアディス人であること、プレアディスの素晴らしい愛と共に生きていたという事を忘れた人達もたくさんいます。

しかしながら、皆さん1人1人がこのプレアディスの叡知と素晴らしい愛を思い出す事によって、皆さんの本質とも言えるプレアディスの光を思い出す事が出来るのです。

では、皆さんのハートを開いて下さい。プレアディスの愛の光がどんどん溢れてきます」

セレーノは偉大なる創造主達を呼び、メンバー全員にプレアディスの愛を思い出す様にハートに光を送って下さいました。

PART7 アセンションしたアルキオネ星

私達は、女神セレーネの愛にまつわる話を、涙を流しながら聞いていました。

そして、セレーネを旅立ち、アルキオネ星へとたどり着きました。

この星は、大きな山がそびえたち、お城の様な建物がそびえたっています。

そしてこの星には、プレアディスでも最大の叡智の図書館があります。

私達が、アルキオネ星に降り立つと、マスター達が迎えに来てくれました。

お城の中に通されると、とても高い天井を持つ大広間が亜理紗らに奥へと廊下が続いています。

そして、ここにたくさんの種類の本棚が並んでいるように見える宇宙の図書館があるのです。

このアルキオネ星のマスターの一人であるセント・ジャーメインが、私達の前に現れてきてくれました。

彼は、3年ほど前から、私達の活動を支えてくれた大切なマスターの一人で、私達の親友でもあります。セント・ジャーメインが、私達に挨拶をしてくれます。

「皆さん、ようこそ、プレアディスへ来てくださってありがとうございます。
私達は、皆さんに変容の光を届けるために、女神達とともにお待ちしておりました。
皆さんは、今後、さらに高い周波数を持ち、地球の周波数も上げていくこととなるでしょう。
皆さんは、地球のアセンションに向けて様々なネガティブな周波数を愛の周波数に変えていく必要があります。
皆さんの思いは愛の光となり、現実社会を新たに作り変えていくことでしょう。
ここはプレアディス最大の図書館があります。
皆さんが意識を一つにすることで、ここでさまざまな情報を検索できるようになっています。」
私達は、セント・ジャーメインの勧めによって、図書館の椅子に座り、しばらく情報を受け取っていました。

「TAKESHIさん、実は大切なことを少しお話ししておきましょう。
実は、多くの人にとってこの星は消滅したとされています。
それは、この星がなくなったと思わせることで、ネガティブなエネルギーを持った人たちが入れないように、星の次元を一つ上げたのです。
しかし、アセンションした星には、かならずアセンション出来なかった人達を収容するもう一つの星が存在することになります。
其れを裏の星、あるいはディセンションした星と呼ぶことがあります。
このアルキオネ星にも、その2つの星が存在し、ディセンションしたアルキオネ星には、多くの学びをおこなわなければならない人達がたくさん存在します。
現在の地球も、すでにアセンションした地球とディセンションした地球に分離しつつあります。
私達が、準備した変容の光は、皆さんがアセンションするために必要な光なのです。」

セント・ジャーメインと数名の女神が私達の前に立って、光を送ってくれます。
「さあ、皆さん、ハートを開いてください。
皆さんのハートは、女神セレーネの美しい愛の光によって美しい至高なる愛に満たされています。
皆さんの変容も、地球が新しく成長していく過程で行われていきます。
そして、地球のアセンションには、皆さん自身の変容の力が必要なのです。
その2つが一つになった時、地球はますます素晴らしい愛の星へと変わっていくことでしょう。
その為にも、あなたの中にある愛は、さらに高い次元へと変容していかなければなりません。
エゴや支配欲、独占欲を捨ててください。
多くの人とエネルギーを分かち合えることを感じてください。
そこに美しい存在へと変容する秘密が隠されています。
私達は、皆さんと共に地球に光を導くことを助けます。
そのことが、地球がアセンションしていくために必要なのです。
これから地球の変容のために、プレアディスだけでなくベガ星やシリウス星のスターシード達も目覚めてくることでしょう。
そして、多くの存在達が素晴らしい愛の存在へと変容することにより、地球もさらに高い次元へとつながっていくのです。」

セント・ジャーメインたちが祈り始めると、私達のハートの中に素晴らしい愛のエネルギーが伝わってきて、各チャクラへと広がっていきます。

そして、クラウンチャクラのさらに上にある「アッパーチャクラ」へと光がどんどん送られていきます。このアッパーチャクラの光は、高次元へと私達を導いていきます。私達は、そこからさらに素晴らしい光を導いて私達の変容の光としていきます。

そしてさらに、私達はその光をハート・チャクラに広げると共に、ルート・チャクラから地球のコアにあるガイアのエネルギーへとつなげていきます。ガイアのエネルギーは、再び私達のもとに戻り、ハート・チャクラへつながり、私達のハートを力強いエネルギーで満たしていきます。天から導かれた光と大地から導かれた光が一つになってハートの中に素晴らしい変容の光を作っていきます。私達は、この光を使ってアセンションしたアルキオネに入っていくことにしました。

PART8 ハート・クリスタル・エルフ

私達は、アルキオネ星でアセンションしていくエネルギーによって、自分の本質の姿を見ていくことにします。私が、呼んだのは、「ハート・クリスタル・エルフ」と呼ばれる存在です。プレアディスでの過去生を解き放たれた数名の人達が、自分自身のスピリットのより高次な存在に会いに行ったときに出てきてくれたのが、この「ハート・クリスタル・エルフ」でした。

「ハート・クリスタル・エルフ」は、美しく透き通った体を持ち、ブルーの澄み渡った大きな瞳を持っています。

美しく白い肌に、少しばかり尖った耳、金色もしくは銀色の髪をしています。

彼らは、体の中に美しい星の光をやどし、多くの生命だけでなく星々さえも癒します。

私達は、ハート・クリスタル・エルフの前に立ち、彼らのエネルギーと自分達のエネルギーを一つにしていきます。

エルフは、愛を分かち合うことが仕事です。

そして愛が足りない人達に、愛を分かち合っていきます。

そのエルフを守る仕事をするのがペガサス騎士団と言われる存在です。

ハート・クリスタル・エルフたちは、あまりにも純粋なので、すべてを受け入れてしまいます。

しかし、宇宙の中にはそのような純粋なエネルギーを自分合物にしようとする存在達がいる、彼らのエネルギーは常に狙われていますので、エルフたちを守る必要があります。

その役目を担っているのが、純白のペガサスに乗る騎士団です。

プレアディスの過去生が出た人の中には、こちらのペガサス騎士団であった人もいます。

私達のメンバーも、ハート・クリスタル・エルフもしくは、その守護をおこなうペガサス騎士団のスピリットと統合を果たしていきます。

それぞれのメンバーが、光に満ち溢れていきます。

PART9 地球のアセンションをサポートするエルフたち

地球のアセンションをサポートする存在は、このハート・クリスタル・エルフだけでなく、ほかにも幾種類かの存在がいます。

これは、私達がライトボディセッションをおこなっている時に、皆さんのハートの中から現れてきた存在達をご紹介します。

其れは、ハート・クリスタル・エルフの源となるエルフたちで、宇宙の月の神殿と太陽の神殿からやってきてくれたエルフたちです。

★ムーン・エルフ

月の神殿から来てくれたエルフをムーン・エルフと呼んでいます。

全身が優しい光に輝き、月の神殿のエネルギーを受け取って、地球と必要な星々にそのエネルギーを届けるのが役目です。

彼らの役割は、女性の肉体的・精神的癒しをおこない安定させます。

また男性性と女性性の統合をはかります。

地球のすぐ横にある月のシャーマンである輝夜族とも深い関係を保ち、彼女達にも月のエネルギーを送っています。

ムーン・エルフを生み出しているこの宇宙の最高次元にある「月の神殿」は、宇宙空間の中に、青白く輝く月を背景に浮かぶ神殿で、この宇宙のあらゆるアセンションをサポートします。

生命の中におり立ったエネルギーを調整して、人々が持つ感情や女性性をしっかりと癒し引出していきます。

★サン・エルフ

またムーン・エルフと協力関係を持つエルフが、太陽の神殿のサン・エルフです。

サン・エルフは、太陽のエネルギーを受けて、ネガティブなものを太陽の光でもやし尽くす存在です。

また太陽の光で、エネルギーを活性化させ生命力を高める役目があります。

サン・エルフは主に、肉体のエネルギーを癒していき、生命力にあふれさせます。

★ダイヤモンド・エルフ

ダイヤモンド・エルフは、ムーン・エルフとサン・エルフを統合した存在で、月と太陽の光と働きを併せ持っています。

癒しと共に活性化をおこないますし、男女性のよりパワフルな統合をおこなっていきます。

太陽の神殿と月の神殿を自由に行き来して、交流を図っています。

★フラワー・エルフ

フラワー・エルフはアセンションしたプレアディスから来た存在です。

植物や動物のお世話をするエルフですので、癒しのかや生命を育てる力はとても強いのですが、守りの力が弱いので、ネガティブなエネルギーにすぐつかまってしまいます。

以前は、それほど闇の力が強くなかったので、ペガサス騎士団もさほど人数が必要ではなかったのですが、最近地球のアセンションのために、エルフたちがたくさん地球に降り立ってきていることを知って、闇の存在も、彼らをとらえることに必死です。

私は、彼らの守護をおこなうために、エルフの守護騎士団を増やしてあげることになりました。

第6章 天の川銀河の12神殿

PART1 地球上での神殿と神官達

私達は、地球上における古代文明の多くの復興を手掛けてきました。

それは、天の川銀河の12神殿を復興させるためには、地上の古代文明を元にした新たな神殿たちを準備しなくてはなりません。

それはたとえ天の川銀河の12神殿ができたとしても、その光を地上に繋ぎとめる神殿がなければ、天の川銀河の12神殿の光は地球に降りてくることができないのです。

天の川銀河の12神殿は、天の川の星座達と密接に関わり、星座の力を結集して、この地球に特別なエネルギーを降してきます。

それは、地球の波動を高め、地球に生きる人達を覚醒させる為にはなくてはならないエネルギーです。

私達の地球は、これからアセンションというかつてない時代を向かえます。

そのためには、地球と地球に生きる人が今までにないくらい高度な自分へと目覚めていく必要があるのです。

私達は、天の川銀河の12神殿の光を受けとめる神殿と同様に、神官達も育ててきました。

「宇宙の光」のメンバー達は、これから始まる地球のアセンションに向けて、大切な地球を支えるために、この地上に降ろされてきたスピリットばかりです。

彼女達のスピリットや魂を目覚めさせることは、地球のアセンションの為には、最も大切なことです。

特に、私達の時代に最も近く、人間としての意識としても連続性を持っているアバロンの記憶を呼び覚ますことは非常に大切なことでした。

私達のスピリットの中には、神聖な神官やヒーラーであったり自然界の精霊であった時の記憶が眠っています。

その記憶は多くの場合、苦しみや悲しみの感情によってブロックされているのですが、そのブロックをはずし、その時の記憶を解き放ってあげることで、その時の人生の中で持っていた様々な能力やスピリットの資質を思い出すことができます。

そして、それらの物を思い出したスピリットというのは、自分自身を目覚めさせるだけでなく、周りの人達にも大きな影響を与え、多くの人達を覚醒へと導くことができるのです。

私達のメンバーは、アバロンの記憶を思い出した後で、スピリットが大きく目覚めてきました。

そして自分自身がプレアディス星団にいた事や人々や多くの生命達を守護するエルフであった事を思い出してきたのです。

それは、ハート・クリスタル・エルフを始め、これからの光の地球、アセンションしていく世界には必要な存在であり、素晴らしいスピリットの資質でもあるのです。

私達は、天の川銀河の12神殿を作り上げるための準備を滞りなく行ってきました。

しかし、天の川銀河の12神殿に取り掛かるときに思いもよらぬ大きな障害が起きたのです。

私達は、このころ星のツアーではなく、個人のアチューメントでも盛んに宇宙へと出ていたのですが、私達の活動を妨害するために、地球外生命体達が私達のメンバーの中にもぐりこんできはじめたのです。それは主に「宇宙の光」とは関係がないヒーリングやスピリチュアルな活動のゲートを通じて入りこんできた存在達でした。

また地球のアセンションに向けて、地球も様々なゲートを開放していったために、今までにない地球外生命体が地球に入り込んで来たり、非常に危険な世界へとゲートが開かれたりしてきました。地球以外の星でも、地球人と関わる事で、自分達の星とは関係がない危険な地球外生命体達が入り込んで来たり、余計なエネルギーが自分達の星に流れ込んでくるのが起きた為に、地球とのゲートをいったん閉じて、自分達の星を守ろうという星も出てきました。

特に天の川銀河の12神殿を作る段階になって、鳳凰族や創造主は、作っている途中の12神殿の中に、その様なエネルギーが入り込むと、神聖な12神殿が破壊されてしまう事を危惧したのです。確かに、12神殿を作る前の予備的な神殿では、その様なことが起こり神殿そのものが崩壊してしまうことがありました。

其のために、天の川銀河の12神殿は、メンバーにも通達されず、私と美樹さんだけで作ることになりましたが、12神殿が完成するまでは、私達さえも中に入れてもらえないという徹底ぶりでした。私達が行ったことは、天の川銀河の12神殿を作る前に、どのようなメンバーで12神殿が作られ、どのような警備隊や実行部隊がいるのかという事を教えてもらっただけです。しかもそのことは極秘にされました。

地球人は、非常に幼稚な存在ですので、高度な能力を持っている地球外生命体達にしてみれば、地球人が考えている事や地球人が行なおうとしている事は簡単に調べることができるのです。それは私であっても同じです。

マスター達は、私に仕事を依頼する時も、直前までその内容を明らかにしたりしません。あるいは、その直前で指示を変えることがよくありますが、それは、私の意識に地球外生命体が介入してきて、マスター達が何を計画しているかを読み取ることで、マスター達の計画を邪魔する事が多いからです。

今迄は、私達は宇宙の真理について学んだり、自分の能力を高める為に活動してきましたが、2015年の秋からは、地球のアセンションのために重大な任務を担い始めました。そして「宇宙の光」の活動もメンバー達の意識を目覚めさせ、新しい地球人種として成長させるための活動へと変わってきたのです。

それは、地球を支配したいと考えている地球外生命体達にとっては、非常に厄介な問題が起きてきた事になります。

自分達が支配していた人類を自分達の手から解放するための活動を私達とマスター達が始めたからです。そのために、彼等は、私達の活動を分裂させたり、不要な中傷をし合ったりして、メンバー達の心をアセンションからそらしていきました。

星のツアーに関しても、様々なエネルギーが飛び交い、時として混乱したりすることも起きたので、私達は、いったん星のツアー等を中止して隠れて動くことにしました。

天の川銀河の12神殿もいったんマスターや創造主にお任せして、天の川銀河の12神殿が出来上がってから、

私達は、中に入れてもらう事にしました。

PART2 天の川銀河の12神殿

或る時、マスターから「天の川銀河の12神殿」が出来上がったと、連絡が来ました。
私達は、一体どのような世界が生まれたのだろうと美樹さんと一緒に行ってみることにしました。

12神殿に着くと鳳凰族のメンバー達が私達を迎えに来ていました。
ペリドットの鳳凰やラピスの鳳凰たちが中心となってこの12神殿を作りあげてくれたのです。
そして12神殿と鳳凰族を守護するように、虹の騎士団とホワイト鳳凰族をリーダーとする白銀の騎士団もそろっています。
特に、虹の騎士団は、1つの神殿ごとに警備を行い、それぞれのグループに騎士だけでなく虹のドラゴンや虹のペガサス達も加わった強力な騎士団です。

更に12神殿が出来上がった後には、地球だけでなく天の川銀河全体が大きく変化します。
それはこれから起きる地球のアセンションと共に、天の川銀河全体が、新しい世界に生まれ変わっていく事となるからです。
其のために、新たな創造主や女神、マスター達もたくさん生まれてきているようです。

たとえば、月の神殿の女神や太陽の神殿の女神もそうです。
この女神達は、天の川銀河の12神殿と彼女達の神殿のエネルギーをつなぐことで、新たな宇宙の創造のための光を、地球と天の川銀河につないでいきます。
彼女達は、隠された月と隠された太陽が覚醒したエネルギーによって生み出されたようです。

私達は、騎士団によって嚴重にチェックを受けた後に、天の川銀河の12神殿に入る許可をもらいました。
時折、その人のスピリットや肉体の中に、地球外生命体や変なエネルギーが隠れていることがあり、彼らは私達の間を見て、このような神殿の中に入り込み、神殿の機能を破壊していくのです。

天の川銀河の12神殿の中に入ると、中央にペガサス座の神殿があり、それを取り囲むように12の神殿が並んでいます。
神殿の形はほとんどが同じですが、そこで使われている色に特徴があるようです。
もちろん神官が来ている服の色は、神殿ごとに明確に区分されています。
それでは、12神殿の名称と働きについてご紹介しましょう。

〇しし座の神殿

特徴的な色 白にグレイ
勇敢、勇気、行動力、12神殿の絆、基盤を作り安定させる。
自信と勇気行動力を生み出す力、無償の愛。

○さそり座の神殿

特徴的な色 赤

火と浄化と情熱の役目 やる気をおこさせる情熱、活力や創造性。

宇宙を創造するためのエネルギーの一つがさそり座の神殿。

○おうし座の神殿

特徴的な色 薄い茶色、

グラウディングするパワーを与える 大地のエネルギーにつなげていく。

○おとめ座の神殿

特徴的な色 ピンク色

女性性をもたらす、芸術性、美しさをもたらす。

外側、内側にある美に目覚めさせるエネルギー。

より宇宙の中の愛のパワーを目覚めさせる。

○白鳥座の神殿

特徴的な色 白

気高さと純粋さ 精霊界のエネルギーとつながる神殿。

自由な発想を宇宙にもたらす、ぬくもりと温かさ、ピュアなエネルギー。

○大熊座の神殿

特徴的な色 濃い茶色

魔法的なエネルギーと科学的なエネルギーの調整、

錬金術と魔法を使用して新しい物を作り出す。

叡智と時間の調整をおこなう。

○みずがめ座の神殿

特徴的な色 水色

神聖さ、水の流れのごとく循環する、再生のエネルギー。

宇宙が止まることなく循環する働きを保つ。

新しい宇宙が止まることなく、発展していくエネルギー。

○アンドロメダ座の神殿

特徴的な色 緑と赤

生み出す力、宇宙の創造のエネルギーをもたらすための神殿。

生命を生み出す力、変化と進化、成長を促す役割がある。

○オリオン座の神殿

特徴的な色 青と緑と白

守護の力、12神殿の騎士団を育てる力。

人々をエンパワーメントして勇気づける。

○ケンタウルス座の神殿の神殿

特徴的な色 金と黒

闇のエネルギーから宇宙を守る。

ネガティブなエネルギーから一人一人の生命を守る。

○わし座の神殿の神殿

特徴的な色 薄く明るい青

叡智を与える、予知、千里眼などの能力を高める。

人世の見通しを立て、人生を創造していく力をあたえる。

○へびつかい座の神殿の神殿

特徴的な色 灰色がかった黒

見分ける力、闇と光、正義と悪を使い分ける力。

判断力をサポートする。

PART3 創造主の神殿

私達は、12 神殿を回り終わると、さらに奥にある創造主の神殿へと案内されました。

創造主の神殿は、手前に白の大理石で形作られたような入り口があり、美しい装飾で飾られています。

神殿は、とても豊かな愛のエネルギーで満たされている神殿で、私達は神殿に入るだけで幸福な気分になります。

これは愛の創造主と時の創造主により作られた特別な神殿で、愛を高める神殿だという事です。

更に奥にはゴールドの神殿が見えてきました。

この神殿は、宇宙の叡智、統合、永遠の輝きを象徴した神殿です。

かがやきの創造主と統合の創造主のエネルギーによって生みだされたこの神殿と神官達は、12 神殿のエネルギーを一番上で統括する役目を担っています。

この神殿が持つエネルギーは、叡智と愛と統合、バランスと守護、すべての事を可能とするような力を象徴する神殿です。

私達はしばらくの間、この神殿で瞑想を行います。

私達が作り上げた全ての事が、この天の川銀河の 12 神殿に集約されていったといってもいいかもしれません。

私達はこれから本格化してくるアセンションの活動のためのパワーを受け取っています。